

明治十九年一月 指令 大蔵省 陸軍省

伺ノ趣四月分ニ取纏メテ報告候儀ト可相心得事

○船鑑札記載方(岐阜縣)伺 明治十八年十二月二十八日
解漁船小回船等ノ内舳梁艦梁トモ之ナキモノハ荷物積載ノ要部ヲ量リ猶普通川船舳梁兩梁ノ位置ニ比準シ適宜間數ヲ定ムヘキ旨ニ之アル處右ノ場合ニ於テハ鑑札離形中自舳梁何間ト之アル箇所ハ如何記載スヘキヤ

指令 明治十九年一月二十日

伺ノ趣左ノ通記載スヘシ

長何間

但舳首ヨリ何尺何寸ヲ除ク
舳尾ヨリ何尺何寸ヲ除ク

○豫算條規第八條中疑義ノ件(神奈川縣)照會 明治十八年十二月二十八日

明治十八年三月太政官第拾壹號達歲入出豫算條規第八條中(其部局若クハ郡區ノ報告書ヲ添ヘニ云云トアリ其ノ報告書ナルモノハ同條規第二條郡區細豫算書ノ振合ヲ以テ調理スヘキ儀ナルヤ又ハ普通ノ報告書體ニ依リ差支ナキヤ

回答 明治十九年一月二十二日

右ハ第一部歳入豫算増減報告書書式ニ準シテ調理スヘシ

陸軍省

○徵兵ト海軍志願兵ト採用ノ件(高知縣)伺 明治十八年十二月十九日

海軍志願兵徵募規則ニ據リ本年志願者ノ内十九年徵兵相當ニシテ其徵兵検査ヲ受ケ已ニ合格トナリタルモノト雖モ徵兵抽籤前ニ在テ募兵使ノ検査ヲ經其採用證書ヲ授付セラレタル旨届出ツルトハ

徵兵令第十八條第四項ニ準シ取計可然哉將テ徵兵抽籤ヲ施行シ已ニ其割符ヲ總代人ニ交付シタル以上ハ(抽籤當日ヨリ)假令募兵使ノ採用證書ヲ受クルモ勿論其證書ハ無効ノ儀ト被存候得共縣下僻遠ノ地ニ在テ徵兵抽籤ノ前日若クハ前々日又ハ徵日前ニ在テハ海軍兵採用ヲ受ケ實際不便ニシテ徵兵署ニ其旨届出ツル能ハサルモノハ假令徵兵抽籤ヲ施行スルモ總代人ノ割符ヲ受領スルモ抽籤前日迄ニ海軍採用證書ヲ所持シタルトキハ前段ニ據リ處分シ割符ノ番號ハ缺號トナシ之ヲ取消スヘキ儀ト相心得可然哉右ハ海軍志願兵検査ト徵兵抽籤ト同時ニ相成彼是疑義ニ涉リ處分上差支候條相伺候也

指令 明治十九年一月六日(電報)

徵兵ト海軍志願兵ト採用ノ儀ハ總テ伺ノ通

○陸海軍下士卒單身旅行中疾病等費用ノ件(靜岡縣)伺 明治十八年十二月二十二日

陸海軍下士卒單身旅行中災或ハ疾病ニ罹リ難開者アルトキハ相當ノ救護ヲ加フ其死亡セルモノハ假埋葬取計ヘキハ勿論ノ儀ニ有之候處右ニ關スル費用ノ儀ハ御省ニ於テ辨償相成候儀ト相心得可然乎

指令 明治十九年一月二十一日(陸海軍兩省)

伺ノ趣左ノ通可心得事

陸軍ニ在テハ隊附下士卒ニ限り救護ニ要シタル費用ハ其所管ニ於テ本人俸給積置金等實力限り取立處辨シ死亡者ハ埋葬料トシテ下士ハ金十五圓兵卒ハ金十圓以内ノ實費ヲ處辨スヘシ尤親族ノ願ニヨリ死體ヲ引渡スルハ右埋葬料ヲ給スヘシ但隊外下士卒ハ總テ本人ヨリ辨償スルモノトス
海軍ニ在テハ現役下士卒旅行中死亡并十一年乙第十號省達旅行證票規則第三條ニ該當スル者ニ

明治十九年一月 指令 陸軍省

係ル費項ハ總テ横須賀鎮守府ヘ請求スヘシ死亡者埋葬料ハ下士ハ金十五圓卒ハ金十圓以內ヲ以テ處辨スヘシ尤親戚故舊ノ願ニヨリ死體ヲ引渡スルハ定額ノ埋葬料ヲ給スヘシ

文部省

○學事年報取調諸表中疑義ノ件(沃城縣)照會 明治十八年十二月二十六日

一統計表中普通科ノ欄ハ高中初等科共現在修學スル者ヲ混記スヘキヤ
一編表中他ノ學科ノ欄ハ曾テ普通科ヲ修メシト否トヲ問ハス總テ現在他ノ學科ヲ修ムルモノヲ記入スヘキヤ

一學校表中卒業生徒ハ高中初等科ヲ混記シ符合號ヲ付セシテ可ナルヤ

一出納表并ニ所有品及學資寄付表中器械ハ都テ理化學用器械ヨリ卓子椅子其ノ他瑣末ノ器具マテ混同記入シテ可ナルヤ

一出納表中諸給料ハ縣立諸學校ナラハ書記ノ給料ナルヘシト雖町村立小學校等ニ於テハ必用ナキカ如シ然ラサレハ一二ノ例ヲ示セ

回答 明治十九年一月九日

統計表中他ノ學科ノ欄內ニハ普通科ヲ卒ヘシモノニシテ現在他ノ學科ヲ修ムルモノヲ記入シ又出納表中諸給料ノ欄內ニハ小使等ノ給料モ總テ計入スルノ主旨ニシテ其他ハ總テ照會ノ通

農商務省

○蠶絲業組合ノ件(富山縣)同 明治十九年一月十四日

桑葉賣買人ト桑園一段歩以上所有者ハ蠶絲組合ニ加入セシムヘキヤ

指令 明治十九年一月十六日

桑葉賣買人ト桑園所有者ハ蠶絲組合ニ加入セシムルノ限ニアラス

內閣法制局裁定

裁定書

鳥取縣令 山田 信道
鳥取縣會副議長 中井 靜雄

右縣令ト縣會トノ間ニ於テ明治十八年度臨時水災土木費議定ノ件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシ權限ヲ爭ヒ府縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

第一條

明治十八年度臨時水災土木費議定ノ爲メ本年七月臨時縣會ヲ開設シ縣令カ該會ニ發布シタル友出追加豫算議案ハ合計金七万八千五百七十五圓九十錢八厘ニシテ追加徵收豫算及方法議案ハ金二万二千二百四十三圓三錢三厘ヲ地租割稅(即地租金一付四錢トシテ金七千六百八十圓六十七錢二厘ハ戶數割稅金九錢六厘トシテ金五万七千八百八十七圓九十五錢四厘ハ民力ノ負擔ニ耐ヘサルヲ以テ國庫特別補助ヲ仰クヘキ分トシ收入合計金七万八千五百九十圓七十五錢九厘ノ內全ク民力ノ負擔ニ歸ス可キ金額ハ二万七千八百二圓八十錢五厘トス即臨時縣會ハ其支出收入豫算及方法議案共異議ナク之ニ確定セリ然ルニ縣令ハ其認可否ヲ爲サス本年十一月ニ至リ甲第百三拾七號ヲ以テ其支出追加豫算ハ本年七月臨時縣會ノ議決追徵及方法ハ本年十月常置委員會ノ再議ニ付シ該會ノ決議ヲ認可シタル旨布達セリ而シテ十九年度通常會ニ於テ常置委員會ノ報告ヲ受ケ之ヲ審査スルニ縣令カ府縣會規則第五條及第三十七條第二項ニ依リ再議案ト做シ常置委員會ニ付シ議

決セシメタル追加収入豫算及方法議案ハ金三万八千六百五十一圓九十錢三厘ニシテ内金二万八千七百七十圓九十八錢六厘ハ地租割稅（地租一圓ニトシ金一万四百八十圓九十一錢七厘ハ戶數割稅即一戸ニ付金一圓一錢一厘）トシ之ニ國庫特別補助金四萬圓ヲ合シ金七万八千六百五十一圓九十錢三厘トス之ヲ臨時縣會議決ノ金額ニ對照スルニ地租割稅ニ八千四百八十八圓八十五錢三厘ヲ戶數割稅ニ二千八百圓二十四錢五厘ヲ増加セリ因テ之ヲ考フルニ縣令ハ同規則第五條ニ依リ縣會議決ヲ認可否スルノ權ヲ有スルモ一旦其議決セシメタル議案ヲ變更増減スルハ固ヨリ法律ノ許サハル所ナリ然ルニ縣令ハ臨時縣會議決ニ對シ適當ノ處分ヲナスシテ之カ効力ヲ空フシ擅ニ其議決ノ金額ヲ動シ其議案ノ組織ヲ變シ之ヲ再議案ト做シ以テ常置委員會ニ付シタルハ縣令カ法律ニ依リ職權ヲ以テ爲シ得ヘキ範圍外ノ處分ト云ハサル可カラズ抑縣令カ縣會議決ヲ認可スヘカラスト思慮シ同規則第五條第二項ニ依リ之ヲ再議ニ付スルハ乃チ其已ニ發布シタル議案ニ就キ再ヒ審議討論適當ノ議決ヲ爲サシムルノ謂ニシテ其前後金額ト組織トヲ異ニスル議案ヲ以テ同規則第三十七條ニ依リ開設セル常置委員會ニ付シタルハ乃チ法律上發布スヘカラス議案ヲ發布シ而シテ常置委員會ニ於テ法律上議定スヘカラス議決ヲナサシメ之ヲ認可スト雖モ決シテ正當ノ處置ニ非サレハ共ニ無効ニ歸スヘキハ固ヨリ言ヲ俟タサルナリ因テ縣令ノ所爲ハ法律ニ背反シ縣會議ノ職權ヲ犯シタルモノト認定セリ

第二條

縣令カ前條再議案ヲ以テ常置委員會ノ議決ニ付スルノ前ニ當リ常置委員ノ伺書ニ對シ府縣會議則第五條ニ依リ縣會議決ヲ再議ニ付スルニ會期內ニ於テスルモ又ハ更ニ臨時會議ニ於テスルモ法律ノ制限無之儀ニ付何レノ場合ニ於テモ再議案ヲ發付スルトキハ之ヲ決議スヘキ儀ト心得ヘシ云ト指令セリ因テ之ヲ審案スルニ再議ノ場合ト會期ノ制限トハ相密接シテ離ル可ラサルモ

ノナリ如何トナレハ則チ縣令指令ノ如ク果シテ會期外ニ於テ再議ニ付スルヲ得ルモノトモハ政府カ同規則第三十一條及第三十二條ヲ以テ定メタル會期ノ制限ハ終ニ無効タルヲ免レス故ニ同第五條第二項ニ依リ縣令カ意見ヲ以テ會期內ニ再議ニ付スルヲ得ルハ固有ノ職權ニシテ法律ノ許ス所ナリト雖モ同規則第三十七條第二項ニ依リ常置委員會ヲ開キ十八年度追加徵收豫算及方法再議案ト做シ該會議ノ議決ニ付シ之ヲ認可シタルハ乃チ會期ノ制限ヲ破リ法律ヲ誤解シタル處分ナリト認定セリ

縣令ノ答辯

第一條

縣會ハ其既ニ議決シタル議案ノ組織ト金額トヲ變更シ其會期外ニ於テ再議ニ付シタルハ法律ニ背反シ職權ヲ犯シタルモノニシテ再議ノ議決モ共ニ無効トスト云フニ在リ抑前ノ議會ハ正當議決シ得ルノ資格ヲ以テ議決シ縣令之ヲ認可シタルモノハ議決ノ當否如何ヲ分タス後ノ議會ニ於テ復タ遡テ之ニ異議ヲ容ルハ勿論トス假令之ニ異議ヲ容ルハ得ルトスルモ其異議ハ縣會ト縣會ノ爭ニシテ縣令ト縣會ノ爭ニ非サルナリ今ヤ前ノ議會即チ府縣會議則第三十七條第二項ニ據リ開設セル常置委員會會議ニ於テハ縣令ト見解ヲ異ニスルコトナクシテ再議案ヲ適當ト認メ之ヲ可決シ縣令亦之ヲ認可施行シタルモノナレハ後ノ議會即チ本年ノ縣會ニ於テ復タ之ニ遡テ異議ヲ容レ法律ニ向テ權限ヲ爭ヒ見解ヲ論スルノ限ニアラサルモノト確認ス

第二條

前條ノ理由ニ據リ本件ニ對シテハ辯明ノ限ニアラスト認ルモ姑ク一步ヲ讓リ再議ニ付シタルハ法律ニ背キ職權ヲ犯シタルニ非スニシテ縣會ノ誤解ナルコトヲ左ニ申明セン

第一項縣會ハ同規則第五條第二項ニ據リ之ヲ再議ニ付スルハ既ニ發布シタル議案ニ就キ議決ヲ

爲サシムルノ謂ニシテ之ヲ變更増減スルハ法律ノ許サハル所ナレハ今議案ノ組織ヲ變更シ金額ヲ増減シテ更ニ發布セルハ法律ニ背キ議權ヲ犯シタリト云フニアリ右第五條第二項ニハ時宜ニ據リ之ヲ再議ニ付スルヲ得トアリテ其再議案ハ云云スヘシトノ裁判ナキ以上ハ再議ニ付スルノ議案ハ初度ノ議案ヲ以テスルモ之ニ修正ヲ加ヘ金額ヲ増減シ組織ヲ變更セサルモノヲ以テスルモ初ヨリ新ニ發布シタル議案ト均シキ資格ヲ有スルモノニシテ一ニ縣令ノ裁量ニ任セ毫モ法律ノ制裁セサルヤ明確ナリ且縣會ハ一旦議決セシメタル議案ハ適當ノ處分ヲ爲サシメテ之カ効力ヲ空フシ之ヲ度外ニ置クト云フト雖モ既ニ之ヲ再議ニ付シタレハ即チ初度ノ議案ニ對シテハ法律ニ據リ縣令ノ職權ヲ以テ之ヲ消滅ニ付シタルモノニシテ其議決ニ對シテハ別ニ處分スヘキノ理ナシ

第二項縣會ハ再議ノ場合ト會期ノ制限トハ密接シテ離ルヘカラサルモノニシテ若シ會期外ニ於テ再議ニ付スルヲ得ルトセハ同規則第三十一條同第三十二條ノ會期ノ制限ハ無効タルヲ免レテ故ニ常置委員會ヲ開キ再議ニ付シタルハ會期ノ制限ヲ破リ法律ヲ誤解シタル處分ナリト云フト雖モ同規則第五條ニハ再議ニ付スルニハ其會期內ニ於テスヘシト制セサルニ據リ不得止場合ニ於テハ會期外別ニ臨時會ニ於テスルモ縣令ノ裁量ニ任セラレタルヤ明了ナリ

審明

本件縣令ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニシ權限ヲ爭フノ要點ハ縣令ハ縣會ヲシテ一旦議決セシメタル地方稅追加徵收豫算及方法ニ係ル議案ヲ修正變更シテ常置委員會ニ付シ再議セシムルコトヲ得ルヤ否ヤニ在リ依テ之ヲ審案スルニ縣會ハ縣令カ府縣會規則第五條ニ依リ縣會ノ議決ヲ認可否スルノ權ヲ有スルモ一旦議決セシメタル議案ヲ變更増減スルハ法律ノ許サハル所ナリ而シテ再議ナルモノハ其已ニ發付シタル議案ニ就キ再々審議討論シ適當ノ議決ヲ爲サシムルノ謂ナレハ縣令カ前

後金額組織ヲ異ニスル議案ヲ以テ常置委員會ニ付シ法律上議定ス可ラサル議決ヲ爲サシメタルハ法律ニ背反シ縣會ノ議權ヲ犯シタルモノナリト謂フト雖モ抑府縣會ノ議決ハ府知事縣令認可ノ上施行スヘキモノナレハ其未タ認可セサル以前縣令カ府縣會規則第五條第二項ニ依リ更ニ前議案ヲ修正變更シテ之ヲ再議セシムルモ法律ノ禁スル所ニ非ス本件ノ如キ國庫特別補助ニ係ル金額ハ未必ノ豫算ニシテ現ニ其金額ニ異同ヲ生シタルニ由リ其議案ヲ修正變更シテ再議ニ付シタルハ法律ノ範圍外ニ涉ルノ處分ニ非ス而シテ之ヲ再議セシムルニ當リ臨時急施ヲ要スル場合ト認メ同規則第三十七條第二項ニ依リ常置委員會ニ付シ之ヲ議決セシメタルハ法律ニ背反シ議權ヲ犯シタルモノニ非ス又縣會ハ再議ノ場合ト會期ノ制限トハ密接シテ離ル可ラサルモノナリ若シ會期外ニ於テ再議ニ付スルヲ得ルモノトセハ同規則第三十一條及第三十二條ニ定メタル會期ノ制限ハ無効タルヲ免レテ故ニ縣令カ常置委員會ヲシテ再議セシメタルハ會期ノ制限ヲ破リ法律ヲ誤解シタル處分ナリト謂フト雖モ抑同規則第三十一條及第三十二條ハ單ニ會期ヲ示シタルモノニシテ再議ハ必ス其前議ノ會期內ニ於テスヘシト限リタルニ非ス故ニ縣令カ未タ認可セサリシ議決ニ對シ同規則第五條第二項ニ依リ再議ニ付セサルヲ得ル場合ニ於テ會期已ニ經過シタルニ方リテハ別ニ臨時會ヲ開クカ又ハ臨時急施ヲ要スルトキハ同規則第三十七條第二項ニ依リ常置委員會ニ付スルカノ二方アルノミ今般縣令カ常置委員會ヲ開キ之ヲ再議セシメタルハ會期ノ制限ヲ破リタル處分ニ非ス

判決

右ノ理由ニ依リ縣令カ縣會ヲシテ一旦議決セシメタル明治十八年度地方稅追加徵收豫算及方法ニ係ル議案ヲ修正變更シテ常置委員會ニ付シ再議セシメタルハ法律ノ見解ヲ誤リ縣會ノ權限ヲ犯シタルモノニ非ス

明治十八年十二月三十日

審理委員長	法制局長官	山尾 庸三
審理委員	法制局參事官	岩崎小二郎
審理委員	法制局參事官	廣瀬 進一
審理委員	法制局參事官	木下 周一
審理委員	法制局參事官	廣橋 賢光
審理委員	法制局參事官	小池 靖一
審理委員	法制局參事官	牧野 伸顯

海軍省

○志願兵徵募規則ノ儀ニ付(高知縣)伺 明治十九年一月二十五日
 海軍志願兵徵募規則第三十二條ノ附添人ノ儀ニ集合發程セシムル場合ハ徵兵入營ノ定員ニ准
 シ附添人ヲ付シ且該費用モ徵兵通リ心得然ルヘキヤ
 指令 明治十九年一月二十七日

附添人其他總テ伺ノ通
 ○航海及碇泊記事差出方(東京府)伺 明治十九年二月十九日
 本年一月二十五日御省乙第一號御達文中「毎年六月十一月兩度管轄廳ヨリ直ニ當省水路局ヘ差出
 スヘシ」ト有之右ハ每半期ツ、取纏メ可差出儀ト存候果シテ然ルハ當廳ヨリ水路部ヘハ一月七
 月ノ兩度回送スヘキヤ
 指令 明治十九年二月二十三日
 伺之通

農商務省

○鳥獸禁制ノ件(鳥取縣)伺 明治十九年一月十五日
 管下因幡國高草郡湖山池ノ儀ハ鳥取市街ヲ距ル凡ソ壹里ニ位シ周圍凡ソ三里面積七百餘町步ニシ
 テ舊藩政ノ時ニ在テハ禁獵ノ場所ニシテ鴻鶴鷹鴨等ノ類群集棲息スルノ所タリ然ルニ維新後舊法
 頓ニ廢滅鳥類棲息ノ地ヲ失ヒ近年ニ至テハ鴻鶴ノ如キハ絶エテ之ヲ見サルノミナラス鷹鴨等ノ諸
 水鳥類モ年一年ニ減少シ遂ニ水鳥ノ類ハ悉ク其跡ヲ絶ツニ至ラントス是畢竟獵法ノ制禁ナキニ原
 因セルモノナレハ今ニシテ之カ保護ヲ爲サ、レハ有益ノ鳥獸繁殖ノ趣旨ニ乖戾可致ニ付前陳ノ湖

山池一圓ヲ以テ水鳥類ノ安息生育ノ場所トシ自今鳥獵（註）網獵（註）禁止致度素ヨリ藩政ノ舊慣モ有之
 敢テ人民ノ營業上ニ差響キモ無之儀ト存候ニ付此段相伺候
 指令 明治十九年二月十九日
 伺之趣開届候事

内閣法制局裁定

裁定書

宮城縣令 松平 正直

宮城縣會議長 遠藤 温

右縣令ト縣會トノ間ニ於テ土木人足舊慣使役法ノ件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシ府縣會規則第九條ニ
 依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

宮城縣令ト宮城縣會トノ間ニ於テ地方稅規則第一條第一項ノ見解ヲ異ニスルヲ以テ之カ理由ヲ
 詳述シ爰ニ裁定ヲ仰カントス

地方稅規則第一條ニ地方稅ハ左ノ目ニ從ヒ徵收ス一 地租三分一以內トアリ縣令ハ之ヲ解釋シテ
 此制限ハ本縣人足舊慣使役法ヲ支配スルモノニアラストシ縣會ハ之ヲ以テ人足舊慣使役法ヲ支
 配スルモノト確認シ互ニ其見解ヲ異ニセリ之ヲ要スルニ地方稅規則ノ範圍ニ就キテ其見解ヲ異
 ニスルモノニシテ今其裁定ヲ仰カントスルノ要領ハ他ナシ地方稅規則ノ範圍ハ本縣ノ人足舊慣
 使役法ヲ包轄スルヤ否ノ一點ニ在リトス
 抑本縣ニ於テ現行スル所ノ人足舊慣使役法ナルモノハ明治十二年二月二十七日太政官號外達ニ

基キ明治十三年度ノ縣會議決ヲ經テ實施スル所ニ係レリ該法第二條ニ曰人足ハ耕地地價金千
 圓ニ付貳拾五人戸數壹戸ニ付貳人ヲ課シ其關係町村限リ使役スヘシト之ヲ說明セハ地方稅ヲ以
 テ支辦スヘキ河港道路堤防橋梁等ノ建築又ハ修繕アルニ際シ其關係町村ノ人民ニ對シ戸數壹戸
 ニ付人足貳人地價千圓ニ付同貳拾五人ヲ課シ以テ其役ニ就カシムルモノニシテ即チ土地ト戸數
 トニ賦課スルニ勞力ヲ以テスルノ稅法ナリト然レトモ其實際ヲ顧ミルトキハ必スシモ勞力ノ
 ミヲ以テ役ニ供スルヲ要セス壹人ニ付一日金貳拾錢或ハ貳拾五錢ノ賃銀ニ替テ其役ヲ充タスヲ
 得ヘシ故ニ法ノ體ハ勞力ヲ供セシムルニ在リト雖モ法ノ用ハ土地ト戸數トニ課シテ金錢ヲ徵收
 スルコト一般地方稅ノ徵收ト殆ト異ナル所ナシ是乃チ本縣人足舊慣使役法ノ概略ナリ縣令ハ現
 ニ此法ヲ施行シ又更ニ本年度收入豫算原案ノ地價割ニ於テモ將ニ地租三分一ノ極點ヲ賦課セン
 トス是ニ於テ議會ハ以爲ラク原案地價割ニ於テ既ニ地租三分一ノ極點ヲ課シ而シテ尙ホ又人足
 舊慣使役法ニ於テ土地ニ賦課スル所アラハ勞力ト金錢トノ名目ハ異ナルアリト雖モ遂ニ彼ノ地
 方稅規則第一條第一項ニ抵觸スルヲ免レサルニ至ラント依テ之ヲ出場ノ縣令代理者ニ質問シタ
 ルニ代理者ハ答テ曰本縣ノ人足舊慣使役法ハ明治十二年二月二十七日ノ太政官號外達ニ基キ明
 治十三年度縣會ノ議決ヲ經テ内務卿ヘ具申ノ上施行シ來リタルモノナレハ其成立全ク特別ノ稅
 法ニシテ地方稅規則ノ支配ヲ受クヘキモノニアラス已ニ地方稅規則ノ支配ヲ受クヘキモノニア
 ラスンハ假令該使役法ニ於テ地方稅規則ノ制限外ニ課稅スト雖モ敢テ之ニ抵觸スルノ理ナシト
 然レトモ議會ハ尙ホ之ヲ承認スルコト能ハス反言シテ曰地方稅規則ノ制限ハ稅品ノ何タルヲ問
 ハス荷モ地方稅ニシテ土地ニ賦課シ金錢ニ積算シ得ヘキモノハ等シク是地方稅規則ノ支配ヲ受
 ケサルハナシ而シテ本縣ノ人足使役法ハ則チ地方稅ニ屬スルモノニシテ土地ニ賦課シ金錢ニ積
 算シ得ヘキモノナリ故ニ公然法律上ノ特許ヲ得ルニアラスンハ何ヲ以テカ地方經濟ノ大典タル

地方税規則ノ制限ヲ免ルヘキノ理アラシキト是本件ニ要スル事實ノ概略ナリトス
 今ヤ縣會カ裁定ヲ仰カントスルニ當リ以上列載スル所ノ事實ニ就キテ果シテ縣令ト縣會トカ法
 律ノ見解ヲ異ニスルモアルヤ否又地方税規則ノ制限ハ本縣人足舊慣使役法ヲモ支配スヘキモ
 ノナルヤ否ノ二點ヲ論窮スルハ實ニ本件ニ對シテ最モ必要ノ問題ナリトス依テ先ツ見解ヲ異ニ
 スルモノアル理由ヲ論述シ次ニ其見解ノ當否ヲ辯明セントス
 夫レ縣令ニ於テ本縣人足使役法ヲ特別法トシ假令地方税規則ノ制限以外ニ賦課スルモ之ニ牴觸
 セスト謂フ所以ノモノハ即チ該人足使役法ハ地方税規則ノ支配ヲ受ケストセラルハ由ルナリ
 議會ハ之ニ反シテ地方税規則ハ本縣ノ人足使役法ヲ支配スルモノト解釋セリ是レ縣令ト縣會ト
 カ地方税規則第一條第一項ノ法文ニ就キ見解ヲ異ニスル所以ナリ縣令ハ謂フ地方税規則第一條
 第一項ノ法文ニ就テハ敢テ見解ヲ異ニスルニアラス唯本縣ノ人足使役法ニ付地方税規則ノ支配
 ヲ受ケヘキヤ否ノ見解ヲ異ニスル所アルノミト是皮相ノ見ノミ未以テ地方税規則ノ見解ヲ異ニ
 セサルノ辭柄ト爲スニ足ラサルナリ何トナレハ則チ既ニ人足舊慣使役法ハ地方税規則ノ支配ヲ
 受ケヘキヤ否ノ見解ヲ異ニスル云ハ、地方税規則ト人足使役法トヲ二ツナカラ論究セサル可ラ
 ス唯夫レ縣令ハ人足使役法ノ成立ヲ論據トシテ地方税規則ニ關セストス是人足使役法ヲ主トシ
 テ地方税規則ヲ客トスルモノナリ議會ハ地方税規則ノ範圍ヲ論據トシテ人足使役法ヲ包括スト
 謂フ是地方税規則ヲ主トシテ人足使役法ヲ客トスルモノナリ故ニ縣令ニシテ人足使役法ハ地方
 税規則ノ支配ヲ受ケサルノ理ヲ辯明セント欲セハ則チ又議會カ解釋スル所ノ地方税規則ヲ論究
 セサル可ラス要スルニ主客ノ間密著ノ關係ヲ有スルモノニシテ其見解ヲ異ニスルハ全ク同一ナ
 リトス故ニ縣令カ獨リ人足使役法ハ地方税規則ノ支配ヲ受ケルヤ否ニ見解ヲ異ニスル謂フテ未地
 方税規則ハ人足使役法ヲ支配スルヤ否ニ見解ヲ異ニスル謂ハルハ不當モ亦甚シト謂フヘシ

夫レ然リ故ニ議會カ縣令ト法律ノ見解ヲ異ニセリトシテ爰ニ裁定ヲ仰カントルハ實ニ法律ノ
 許シタル措置ナルコト瞭々トシテ明ナリ依テ前段ノ次第ヲ逐ヒ更ニ進テ其見解ノ當否ヲ辯明セ
 ン
 地方税規則第一條第一項ノ制限ハ苟モ地方税ニシテ土地ニ賦課シ金錢ニ積算シ得ヘキモノハ税
 品ノ何タルヲ問ハス等シク皆其支配ヲ受ケヘキコトハ其文詞ニ據リ其制限ヲ設ケタルノ精神ニ
 據ルモ寔ニ明白ナリトス若シ夫レ税品ノ種類ニ由テ此制限ヲ受ケサルモノトセハ該文詞ハ何品
 ヲ以テ徵收スルモノハ地租三分一以內ト記載アルカ又ハ何税品ハ此限ニアラスト記載セサル
 ヘカラス苟モ然ラス單ニ地租三分一以內ト記載アルカ又ハ土地ニ課スル税品ノ全部ヲ指シタル
 モノト解釋スヘキハ最モ至當ノ解釋法ト謂フヘシ將タ又稅種ノ成立如何ニ由テ此制限ヲ受ケス
 トセハ該制限ノ精神ハ空シク施政者ノ爲ニ徒爾ニ屬スルナキヲ得ンヤ抑法文ノ解釋ハ文詞ニ附
 會スル所アル可ラス立法ノ精神ヲ徒爾ニ歸セシメサルハ法文解釋ノ通則ナリ如何ゾ記載ナキ文
 詞ヲ附會シ力ナキ施政者ノ措置ヲ以テ地方經濟ノ大典タル規則ヲ徒法ニ歸セシムルヲ得ンヤ今
 本縣ノ人足舊慣使役法ハ其税品ハ勞力ナリ其成立ハ明治十二年二月二十七日太政官號外達ニ基
 キ議會ノ議決ヲ經テ内務卿ノ默過ニ係ルモノナリト雖モ其屬スル所ハ則チ地方税ナリ既ニ地方
 税ナリトセハ何ヲ以テカ地方税規則ニシテ之ヲ支配スルノ力ナシト謂フヲ得ンヤ縣令ハ又謂ハ
 ンカ本縣ノ人足使役法ハ明治十二年二月二十七日太政官號外達ノ主旨ニ基キタル特別ノ成立ナ
 レハ地方税規則ノ如キ通常規則ノ支配スヘキ理ナシト夫レ既ニ明治十二年二月二十七日太政官號外
 達ニ基キタルトセハ地方税規則ノ制限ヲ受ケル固ヨリ其所ナリ何トナレハ則チ該號外達ノ明文
 中毫モ地方税規則ノ制限ヲ免ルヘキノ意味アルヲ見サレハナリ蓋シ該號外達タル明治十一年七
 月二十二日號外達第十二項ヲ以テ河港道路堤防橋梁等ニ係ル地方税及ヒ町村費ノ負擔區分ヲ定

地方税規則ノ制限ヲ免ルヘキノ理アラシキト是本件ニ要スル事實ノ概略ナリトス
 今ヤ縣會カ裁定ヲ仰カントスルニ當リ以上列敘スル所ノ事實ニ就キテ果シテ縣令ト縣會トカ法律ノ見解ヲ異ニスルモノアルヤ否又地方税規則ノ制限ハ本縣人足舊慣使役法ヲモ支配スヘキモノナルヤ否ノ二點ヲ論窮スルハ實ニ本件ニ對シテ最モ必要ノ問題ナリトス依テ先ツ見解ヲ異ニスルモノアル理由ヲ論述シ次ニ其見解ノ當否ヲ辯明セントス
 夫レ縣令ニ於テ本縣人足使役法ヲ特別法トシ假令地方税規則ノ制限以外ニ賦課スルモ之ニ抵觸セスト謂フ所以ノモノハ即チ該人足使役法ハ地方税規則ノ支配ヲ受ケストセラル、ニ由ルナリ議會ハ之ニ反シテ地方税規則ハ本縣ノ人足使役法ヲ支配スルモノト解釋セリ是レ縣令ト縣會トカ地方税規則第一條第一項ノ法文ニ就キ見解ヲ異ニスル所以ナリ縣令ハ謂フ地方税規則第一條第一項ノ法文ニ就テハ敢テ見解ヲ異ニスルニアラス唯本縣ノ人足使役法ニ付地方税規則ノ支配ヲ受クヘキヤ否ノ見解ヲ異ニスル所アルノミト是皮相ノ見ノミ未以テ地方税規則ノ見解ヲ異ニセサルノ辭柄ト爲スニ足ラサルナリ何トナレハ則チ既ニ人足舊慣使役法ハ地方税規則ノ支配ヲ受クヘキヤ否ノ見解ヲ異ニスルト云ハ、地方税規則ト人足使役法トヲ二ツナカラ論究セサル可ラス唯夫レ縣令ハ人足使役法ノ成立ヲ論據トシテ地方税規則ニ關セスト是人足使役法ヲ主トシテ地方税規則ヲ客トスルモノナリ議會ハ地方税規則ノ範圍ヲ論據トシテ人足使役法ヲ包括スト謂フ是地方税規則ヲ主トシテ人足使役法ヲ客トスルモノナリ故ニ縣令ニシテ人足使役法ハ地方税規則ノ支配ヲ受ケサルノ理ヲ辯明セント欲セハ則チ又議會カ解釋スル所ノ地方税規則ヲ論究セサル可ラス要スルニ主客ノ間密著ノ關係ヲ有スルモノニシテ其見解ヲ異ニスルハ全ク同一ナリトス故ニ縣令カ獨リ人足使役法ハ地方税規則ノ支配ヲ受ケルヤ否ニ見解ヲ異ニスル謂フテ未地方税規則ハ人足使役法ヲ支配スルヤ否ニ見解ヲ異ニセスト謂ハルハ、ハ不當モ亦甚シト謂フヘシ

夫レ然リ故ニ議會カ縣令ト法律ノ見解ヲ異ニセリトシテ爰ニ裁定ヲ仰カントルハ實ニ法律ノ許シタル措置ナルコト瞭々トシテ明ナリ依テ前段ノ次第ヲ逐ヒ更ニ進テ其見解ノ當否ヲ辯明セ
 地方税規則第一條第一項ノ制限ハ荷モ地方税ニシテ土地ニ賦課シ金錢ニ積算シ得ヘキモノハ税品ノ何タルヲ問ハス等シク皆其支配ヲ受クヘキコトハ其文詞ニ據リ其制限ヲ設ケタルノ精神ニ據ルモ寔ニ明白ナリトス若シ夫レ税品ノ種類ニ由テ此制限ヲ受ケサルモノトセハ該文詞ハ何品ヲ以テ徵收スルモノハ地租三分一以內ト記載アルカ又ハ何税品ハ此限ニアラスト記載セサルヘカラス苟モ然ラス單ニ地租三分一以內トノ記載アルハ土地ニ課スル税品ノ全部ヲ指シタルモノト解釋スヘキハ最モ至當ノ解釋法ト謂フヘシ將タ又稅種ノ成立如何ニ由テ此制限ヲ受ケストセハ該制限ノ精神ハ空シク施政者ノ爲ニ徒爾ニ屬スルナキヲ得ンヤ抑法文ノ解釋ハ文詞ニ附會スル所アル可ラス立法ノ精神ヲ徒爾ニ歸セシメサルハ法文解釋ノ通則ナリ如何ソ記載ナキ文詞ヲ附會シ力ナキ施政者ノ措置ヲ以テ地方經濟ノ大典タル規則ヲ徒法ニ歸セシムルヲ得ンヤ今本縣ノ人足舊慣使役法ハ其税品ハ勞力ナリ其成立ハ明治十二年二月二十七日太政官號外達ニ基キ議會ノ議決ヲ經テ内務卿ノ默過ニ係ルモノナリト雖モ其屬スル所ハ則チ地方税ナリ既ニ地方税ナリトセハ何ヲ以テカ地方税規則ニシテ之ヲ支配スルノ力ナシト謂フヲ得ンヤ縣令ハ又謂ハシカ本縣ノ人足使役法ハ明治十二年二月二十七日太政官號外達ノ主旨ニ基キタル特別ノ成立ナレハ地方税規則ノ如キ通常規則ノ支配スヘキ理ナシト夫レ既ニ明治十二年二月二十七日太政官號外達ニ基キタリトセハ地方税規則ノ制限ヲ受ケル固ヨリ其所ナリ何トナレハ則チ該號外達ノ明文ニ中毫モ地方税規則ノ制限ヲ免ルヘキノ意味アルヲ見サレハナリ蓋シ該號外達タル明治十一年七月二十二日號外達第十二項ヲ以テ河港道路堤防橋梁等ニ係ル地方税及ヒ町村費ノ負擔區分ヲ定

メタルモ之ニ準據シ難キ分ハ暫ク舊慣ノ負擔區分ニ據テモ妨ケナシトノ旨趣ニシテ單ニ地方
 稅ト町村費トノ負擔區分上ノ融通ヲ與ヘタルモノニ過キサルコトハ其文詞及ヒ明治十一年七月
 二十二日太政官號外達第十二項ノ文詞ニ徵スルモ寔ニ明白ニシテ毫モ舊慣法ニ據テ課稅スルモ
 ノ若クハ金錢外ヲ以テ徵收スルモノハ地方稅規則ノ制限ヲ超過スルモ妨ナシトノ旨趣ヲ視サル
 ナリ加之人足物品等ニ至ルマテ金錢ノ賦課ト同シク制限内ニ屬スヘキ一例アリ他ニアラス本年
 八月二十五日第二十五號布告是レナリ該布告ハ區町村費ノ制限ヲ設ケ地租七分一ヲ超過スヘカ
 スト規定セラレ其人足物品等ヲ課スルモ皆此制限内ニ含蓄セシメラレタルコトハ内務省甲第二
 十九號達ノ雛形ニ由テ明瞭ナリ夫レ地方稅ト區町村費トハ其名目異ナリト雖モ其制限ヲ立ツル
 ノ精神ニ至テハ敢テ異ナルノ理由ナカハヘク區町村費ニ於テ既ニ地租七分一ノ制限中ニ人足
 モ含蓄スルニ於テハ地方稅モ亦之ト同シキヤ推シテ知ルヘキナリ是議會カ本縣ノ人足使役法ノ
 人足タリトモ其之ヲ課スルニ於テハ金錢ニ積算シ其部分ヲ地租割ヨリ扣除セサルヘカラスト謂
 フ所以ナリ縣令ハ又謂ハンカ本縣人足使役法ノ原案タル之ヲ明治十三年度ニ於テ地方稅規則ノ
 制限以外ニ賦課スルノ說明ヲ以テ議會ニ下附シ議會亦之ヲ議決シ而シテ内務卿モ亦默過セラレ
 タリ是レ則チ人足舊慣使役法タル素ト特別ノ成立ニシテ通常地方稅規則ノ支配ヲ受クヘキモノ
 ニアラサレハナリト豈夫レ然ランヤ施政上ノ法律ハ以テ施政者ノ措置ヲ規定スルノ法典ナリ曷
 ソ施政者ノ措置ヲ以テ逆ニ法律ノ範圍ヲ狹隘ナラシメ法律ノ權力ヲ微弱ナラシムルノ理アラ
 ヤ地方稅規則ノ制限ハ施政者ヲ規タスノ法律ナリ明治十三年度ニ於テ縣令カ人足舊慣使役法ニ
 就キ制限外ノ議案ヲ下附シ議會之ヲ議決シ内務卿之ヲ默過シテ問ハサリハ皆是施政者ノ一措
 置ノミ施政者ノ措置ハ固ヨリ法律ノ規定ニ循ハサルヘカラスト明治十三年度ニ於テ之ニ從ハス之
 カ制限ヲ超越シタルハ偶マ是縣令及ヒ議會等ノ誤謬ニ出タルモノニシテ將ニ法律ノ矯正ヲ受ク

サルヘカラストラントスルノ措置ノミ何ソ法律ノ矯正セサルヘカラストラサルノ措置ヲ藉テ却テ法律ノ
 力ヲ減殺スルノ奇貨ト爲スヘケンヤ且夫レ地方稅規則ト本縣ノ人足舊慣使役法トハ元ト相矛盾
 スルモノニアラス故ニ縣令カ之ヲ議會ニ附シ議會之ヲ議決シテ尙ホ今日ニ施行スルモノ固ヨリ
 其宜シキヲ得マリ唯人足課額ノ點ニ於テ地方稅規則ノ制限ヲ超過セシカ爲會マ規則ト相抵觸ス
 ルニ至リシノミ然ラハ則チ成立ノ事蹟ニ拘泥シテ地方稅規則ト人足使役法トヲ抵觸セシムルノ
 解釋ヲ下サンヨリ寧ロ其誤謬ノ點ヲ矯正シテ互ニ相抵觸セシメサルノ解釋ヲ下スノ方且正ナル
 ニ如カサルナリ縣令ハ又謂ハンカ本縣ノ人足舊慣使役法ハ何等ノ稅目ニ屬スルヤ國稅ニ屬センカ將
 スルノ謂ハレナシト然ラハ即チ人足舊慣使役法ハ何等ノ稅目ニ屬スルヤ國稅ニ屬センカ將
 區町村費ニ屬センカ殆ント其歸着スル所ヲ失フニ至ラン元來該人足ハ現ニ本縣土木費ヲ以テ支
 辨スヘキ工事ニ使役スルモノニシテ純然地方稅負擔ノ工事ニ係レリ工事既ニ此ノ如シ是其地方
 稅ノ部分タル第一證アリ凡ソ縣令ニシテ地方人民ニ負擔セシムルモノハ悉ク地方稅ニ出テサル
 ハナシ該人足ハ則チ縣令カ地方ニ向テ負擔セシメタル所ノ勞力ナリ縣令ニシテ之ヲ賦課シ之ヲ
 使役シ來ルハ又其地方稅ノ部分タル第二證ナリ縣令カ議會ノ議決ヲ要スルモノハ總テ地方稅ナ
 リ該人足使役法タル明治十二年二月二十七日太政官號外達ニ由テ縣令之ヲ議會ニ附シタリ是其
 地方稅ノ部分タル第三證ナリ若シ夫レ之ヲシモ地方稅ノ部分アラストセハ縣令ハ何ヲ以テカ彼
 レカ如ク議會ノ決議ヲ要シ彼レカ如ク土地ニ賦課シ以テ彼レカ如ク地方稅負擔ノ箇所ニ使用シ
 來ルノ道理アラシヤ斯ノ如クニシテ尙ホ且本縣ノ人足舊慣使役法ハ地方稅ノ部分ニアラサルヲ
 以テ地方稅規則ハ之ヲ支配スルノ力ナシト謂フハ議會ノ固ヨリ取ラサル所ナリ
 上來論述スルカ如ク本件ハ縣令ト議會ト見解ヲ異ニシタルヤ明白ナリト是議會カ裁定ヲ仰ク
 ノ止ムヲ得サル所以ナリ

縣令ノ答辯

宮城縣會ハ縣令ト法律ノ見解ヲ異ニスト謂フノ故ヲ以テ之カ裁定ヲ仰クノ具狀書ヲ出セリ然ルニ其書中ニ所謂縣令カ法文ニ向テ解釋セリトナスカ如キハ縣令カ解釋スル所ニアラサルヲ以テ縣令ハ法律ノ成文ニ向ヒ解釋スル所ト本縣土木人足舊慣使役法ノ成立シタル所以トヲ左ニ辯明シ之カ答辯ニ供セントス

抑地方稅ヲ以テ支辨スヘキ費途ニ充ツヘキ金員ニシテ苟モ地方稅トシテ土地ニ賦課シ徵收スヘキモノハ地方稅規則第一條第一項ノ制限即チ地租三分一以內ヲ超過スヘカラサルハ固ヨリ論ヲ俟タサル所ナリトス故ニ去ル十二年度ニ於テ本縣土木人足舊慣使役法ヲ設ケ之ヲ縣會ニ附スルニ方リ縣令ハ其議案ニ就キ地方稅ナルモノハ戶數割ヲ除クノ外皆其制限アリテ(當時ノ規則ニ據ル)之カ爲支出スヘキ金額モ支出スルヲ得ス爲スヘキ事業ヲ爲スヲ得ス現ニ本縣土木ニ要スル人足ノ如キハ從來之ヲ其關係町村ニ課シ正夫ヲ徵シテ使役スルノ舊慣アルモ已ニ地方稅規則ヲ發布セラレタル以上ハ亦此規則ニ據リ地方稅ヨリ相當ノ雇錢ヲ出シテ使役セサルヘカラサルニ至レリ云々ト說明セリ是他ナシ地方稅規則ナルモノハ凡ソ地方稅ノ支辨ニ屬スルモノハ一切之ヲ統括スルモノナルカ故ニ從來ノ慣行アルモノト雖モ其性質苟モ地方稅ニ屬スヘキモノトスルトキハ之カ支配ヲ受クヘキハ勿論ナリト視認セシニ由ルナリ縣令カ地方稅規則ノ法文ニ向テ解釋スル所ハ右ノ外ニ出テサルモノニシテ本縣土木人足使役法ノ因テ以テ成立シタル所以ハ他ニ理由ノアルアリ請フ之ヲ辯セン

蓋シ本縣ノ地タル土宜民情自ラ他府縣ト異ナル所アルヲ以テ土木工事ニ要スル人足ノ如キハ到底地方稅規則ニ據ルヘカラサルノ情況ナキニアラス今本縣ニ於テ現ニ人足舊慣使役法ヲ以テ保支スル所ノ河港道路堤防等ノ如キハ其性質果シテ地方稅ノ支辨ニ屬スヘキモノナルヤ將タ區町

村費ニ屬スヘキモノナルヤ二者殆ト分別スヘカラサルノ觀ナキニアラス然レトモ之カ區域ヲ論スルハ本論ノ主眼ニアラサルヲ以テ且ラク之ヲ措キ假リニ地方稅ヲ以テ支辨スヘキモノトセムニ從來ノ慣行ニ依リ去ル十二年度以前ニ於テ河港道路堤防橋梁等ノ工事アルニ際シ使役スル所ノ人足ヲ調査スルトキハ八拾壹萬千四百拾九人六分ニシテ此內郡村ニテ爲スヘキ約定アル用惡水等春秋兩度ノ修繕ニ係ル人足貳拾四萬三千貳百三拾九人九分ヲ扣除スルトキハ五拾六萬七千九百九人七分ナルヲ以テ壹人ノ賃錢ヲ貳拾五錢ト看做シ之ヲ金員ニ積算スルトキハ實ニ拾四萬千九百七拾七圓四拾貳錢ナリトス爾後工事ニ付テハ大ニ整理シ從テ使役スル所ノ人足頗ル減省スルニ至ルモ今後猶ホ貳拾四萬人餘ヲ下ラサルヘシ然ルニ地方稅規則ナルモノハ前段已ニ述フル如ク戶數割ヲ除クノ外皆其制限アリテ現ニ爲サヘルヘカラサル事業モ爲スヲ得サルカ如キ經濟ノ困難アルニモ拘ハラヌ今又此巨額ノ費用ヲ舉ケ之ヲ地方稅ノ支辨ニ屬スルトキハ其弊實ニ細民ヲシテ其負擔ノ重キニ耐ヘサラシムルノミナラス土木百般ノ事業ハ皆之カ爲メニ其進路ヲ遮キラレ漸次退縮ノ兆ヲ現ハスニ至ルハ固ヨリ當然ノ理ニシテ亦以テ實際上限リアル地方稅ノ支辨ニ屬セシム能ハサルノ一斑ヲ知ルニ足ルヘシ況ンヤ其性質タル未全ク地方稅ト見做スヘカラサルモノアルニ於テオヤ於是カ去ル十二年度ニ於テ十二月二十七日ノ太政官號外達ニ基キ此等ノ工事ニ要スル人足ニ限リ暫ク舊慣ニ仍リ從前ノ區域ニ於テ正夫ヲ使役スルモノトシ縣會ノ決議ヲ取り内務省ノ認可ヲ得テ之カ特別ノ法ヲ設ケタリ即チ之ヲ本縣現行ノ土木人足舊慣使役法ナリトス抑此法タル已ニ地方稅規則ニ據ルヘカラストシテ其規則ノ外ニ設ケタル一種特別ノモノナレハ此法ヲ以テ施行スル所ノモノハ地方稅規則第一條第一項ニ掲グル制限ノ地租三分一内外ニ關係セサルヤ明ナリ矣故ニ地方稅規則ニ於テハ正夫ヲ以テ徵收スルヲ得サルモ此法ニ於テハ地租三分一内外ニ拘ハラヌ之ヲ使役スルヲ得ヘシ地方稅規則ニ於テハ不納スルモノ

アレハ公賣處分ヲナスコトヲ得ルモ此法ニ於テハ之カ處分ヲナスコトヲ得ス(内務卿指令ニ據ル)地方税ハ縣下一般ニ賦課スルヲ例トスレトモ此法ハ水利土功ノ工事アル場合ニ於テ其地元町村ニ限り其工事を要スルノ人足ヲ使役スルヲ例トセリ是其地方税規則ニ據ル能ハスシテ其規則ノ外ニ設ケタル特別法タルノ例證ナリトス

以上陳述スルカ如ク縣令カ法律ノ成文上ニ向テ解釋スル所ト本縣土木人足舊慣使役法ノ成立シタル所以トヲ辨明スルトキハ土木人足舊慣使役法ハ地方税規則第一條第一項ノ法文ニ對シテ其關係ノ如何ヲ論スヘキモノニアラサルノ理ハ瞭然トシテ明ナルヲ得ヘシ其他縣會カ具狀スル所ノ事實ニ至リテハ往々實際ト齟齬シ或ハ全ク其誤解ニ出テタルモノナリト見認ムルモノナキニアラスト雖モ苟モ此實理ニシテ已ニ明ナル以上ハ是等ノ事實ハ別ニ論辨ヲ數ヤサハルモ亦從テ自ラ判然タルモノアラム依テ只其大體ニ關スル意見ヲ具シ併セテ之カ答辨ニ供ス

審明

本件縣令ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニスル要點ハ人足舊慣使役法ニ依リ賦課スル人足ハ地方税規則ノ範圍内ナルヤ否ニ在リ依テ審案スルニ縣會ハ本縣ニ於テ現行スル所ノ人足舊慣使役法ハ明治十三年度縣會ノ議決ヲ經テ地方税ヲ以テ支辨スヘキ水利土功アルニ際シ其關係町村ニ賦課スルニ勞力ヲ以テスルノ税法ナレハ地方税規則第一條第一項制限内ノモノナリト謂フト雖モ該使役法ハ縣令カ本縣ノ水利土功ニ關スル慣行ノ遠ニ廢シ難ク且地方税ノミニ資リ工事ヲ保持シ難キ事由アルヲ以テ縣會ノ議ヲ經テ施行スルモノニ係リ即チ本縣限リ設ケタル一種ノ課役方ニシテ其地方税ニアラサルハ當時縣令カ之ヲ縣會ニ付シタル議案ニ地方税ナルモノハ戶數割ヲ除クノ外各其制限アリテ現ニ興スヘキ事業ヲ興スヲ得ス費スヘキ金額ヲ費スヲ得サルノ狀況ナレハ之ヲ地方税ヨリ支辨セントスルモ實際施行シ難キノミナラス舊慣ヲ破リ民心ニ悖戾スルノ恐レナキ能ハサレハ姑ク舊

價ノ方法ニ仍リ使役セントストアリ縣會モ亦此ニ依テ之ヲ議決シタルヲ以テ明瞭ナリトス又縣會ハ元來該使役法ニ依リ賦課スル人足ハ純然地方税負擔ノ工事ニ使役セリ該人足ハ縣令カ地方ニ向テ負擔セシメタル所ノ勞力ナリ縣令之ヲ賦課シ之ヲ使役シ來ルハ地方税タルノ例證ナリト謂フト雖モ該使役法ハ既ニ地方税規則ニ準據セサル特殊ノ方法ナレハ其工事ニ關係ノ町村ニ限リテ人足ヲ賦課シ地方税ト同シク一般ニ徵收セサルヲ以テ視ルモ其性質ノ地方税ニアラサルヤ亦明ナリ畢竟該使役法ハ本縣ニ限リ暫ク舊慣ニ仍リ設ケタルモノニ過キサレハ地方税規則ノ範圍内ノモノニアラス

判決

右ノ理由ニ依リ人足舊慣使役法ハ縣令カ地方税規則外ノモノナリト爲セシハ法律ノ見解ヲ誤リタルモノニアラス

明治十九年二月六日

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 審理委員長 | 法制局長官 | 山尾 庸三 |
| 審理委員 | 法制局參事官 | 馬屋原 彰 |
| 審理委員 | 法制局參事官 | 平田 東助 |
| 審理委員 | 法制局參事官 | 男谷 忠友 |
| 審理委員 | 法制局參事官 | 岸本 辰雄 |
| 審理委員 | 法制局參事官 | 水野 遵 |
| 審理委員 | 法制局參事官 | 浦生 仙 |

内務省

○渡津橋梁賃錢ノ件(群馬縣)同 明治十九年三月五日

明治十八年八月八日滋賀縣ヨリ同縣下ニ在ル渡津橋梁ニ於テハ府縣自他ノ差別ナク警部巡查ハ制服着用ノ節及看守押丁ハ囚人護送ノ節ニ限リ其囚人一同賃錢請求停止致シ度トノ伺ニ同十九年二月十三日伺ノ通ト御指令相成候儀今般警保局長ヨリ通牒有之候ニ付テハ本縣ニ於テモ自今同様取計申度就テハ囚人賃錢ノ儀モ獨リ看守押丁ノ押送スル時ノヨニ限ラス巡查ノ護送スル囚人モ等ク賃錢請求セシメサル様致度

指令 明治十九年三月十日

書面伺ノ通

○賭博犯過料金不納者ノ件(鹿児島縣)同 明治十九年二月十二日

賭博過料不納者身代限印紙費ハ何費目ヨリ出スカ人民ノ訴訟ト異ナルニ付無印紙ニテヨキヤ

指令 明治十九年二月二十五日

賭博犯過料不納者身代限リ印紙費ハ地方警察費ヨリ支辦スヘシ但シ印紙規則第五條ニ據リ貼用スルモノトス

大藏省

○歳入豫算調理上ノ件(岡山縣)同 明治十九年二月二十六日

客年三月第十一號公達歳入出豫算條規第六條第一部歳入中酒類造石稅豫算ノ儀ハ前々年度以前三箇年度實收ノ平均額ヲ標準トシ調理スヘキハ勿論ノ處會計年度御改定ニ因リ十八年度ニ於テハ造石稅ノ收入ハ毫モ之ナキニ付キ來ル二十年度ノ豫算ヲ立ルニハ十七年度以前三箇年度實收ノ平均

明治十九年三月 指令 内務省 大藏省

領ニ據リ調理スヘキヤ然ルハ二十一年度二十二年年度豫算ニ於テモ之ニ準シ前々年度以前實收額アル三箇年度分ヲ標準トシ調理スヘキヤ

指令 明治十九年三月三日

伺ノ通

○舊煙草印紙買下殘餘取盡方ノ件(神奈川縣)照會 明治十九年二月二十日

本年二月大藏省第拾二號ヲ以テ舊煙草印紙買下殘餘ノ分燒却方御達ノ該手續第一項ニ郡區役所等買下殘餘云々トアリ就キテハ即今印紙買下人手元ニアル分モ同様取盡メ燒却スル儀ト思考ス果シテ然ラハ該返納ニ對スル代金ハ別途還付ヲ稟申スヘキヤ又ハ新印紙ヲ以テ交換スヘキヤ

主税局回答 明治十九年二月二十三日

舊煙草印紙ノ燒却ハ郡區役所縣廳殘餘ニ限ル

○煙草印紙ノ件(青森縣)照會 明治十九年二月十五日

印紙買下人ニ於テ曾テ印紙拂受ケ置キタルニ煙草製造人廢業セルヲ以テ後來買下ノ途ナシ然ルニ此ノ買下人ハ他ノ印紙モ共ニ買下クモノナレハ廢業セシテ其ノ買下ノ途ナキ煙草印紙ノモノ買上ヲ請願スルモノアリ是等ハ已ムヲ得サルニ出ヅルモノナレハ印紙買下人廢業ニ準シ聽屆クヘキヤ

煙草印紙發行ノ際高價ノ印紙ヲ拂受ケタルニ今日ニ至ルモ尙一印紙モ買下カス且後來買下ノ目途ナキヨリ他ノ同小印紙ト交換ノ儀出願スルモノアリ是ハ無論聽屆クヘキヤ

主税局回答 明治十九年二月十八日

第一項第二項聽屆苦シカラス尤第一項ノ者ハ其ノ煙草印紙看板ヲ返納セムヘシ

○菓子營業人製造稅意納者處分方ノ件(東京府)伺 明治十九年三月十二日

菓子製造小賣ヲ兼業スルモノニテ其製造稅ヲ不納スルモノアリ之ヲ處分スルニ當リ稅則第八條但書ニ二種以上ヲ兼タルモノハ其稅額ノ多キモノニ就テ納稅スヘシトアリテ其小賣營業ハ製造ニ附帶シテ免許ヲ得タルモノナレハ各營業ヲ停止シ可然モノ、如シ然リト雖稅則第一條ニ於テ各營業人ノ資格ヲ示メサレ第二條但書ニ於テ二種以上ヲ兼タルモノハ各別ニ鑑札ヲ受クヘシトアリテ畢竟製造小賣各別ニ營業權ヲ得タルモノト解釋セサル能ハス然ルモ製造稅ノミ意納スルノ場合ニ於テ各營業ヲ停止スルハ不穩當ト相考候若シ各資格ノ異ナラサルモノトシ小賣ヲモ併セテ營業ヲ停止シ公賣處分等ヲ爲スモノトモハ小賣人ノ資格ヲ以テ他ヨリ買入レタル菓子モ均シク公賣セサルヲ得ス然ルニ該菓子ハ毫モ自家製造ニ關係ナキ物品ナレハ之ヲ公賣スルハ頗ル穩當ナラサルモノト存候旁各資格ノ異ナリタルモノト見認メ處分シ可然哉

追テ製造營業ノミ停止候ニ於テハ小賣營業ハ既ニ當初營業權ヲ得タルモノナレハ當季中ハ別段税金ハ徵收不致積ニ有之候此段添テ相伺候

指令 明治十九年三月十八日

伺ノ趣總テ申出ノ通可相心得事

但營業稅不納ニ係ルモノハ本文ノ限外ト心得ヘシ

○歲入科目表中疑義ノ件(新潟縣)伺 明治十九年三月二十三日

歲入科目表第二部各目ノ下ニ主務ノ廳名ナキモノハ府縣ノ勘定任上ニ屬スルカ又ハ其目ニ依リ從前ノ扱振ナルヤ

指令 明治十九年三月二十四日

三月二十三日電報伺歲入科目ノ件ハ其縣ノ收入ニシテ國庫へ直接ニ整理スルモノハ前段申出ノ通其支部局ノ地位ニ立ツモノハ主管廳ノ整理ト心得ヘシ

司法省

- 違警罪即決例ノ件(長野縣)伺 明治十八年十月十日
- 第一條 十四年御省丙第九號達中違警罪既決未決事件表ハ客月第三十一號違警罪即決例公布ニ付キテハ自然消滅ノ義ト心得ヘキヤ
- 第二條 違警罪即決事件ハ客月御省丙第八號達違警罪公判表へ如何記載スヘキヤ
- 第三條 即決例第二條末項ニ據リ處分シタル件送達スヘキ手續ハ便宜取計ニ其ノ費用及呼出狀等ニ關スル費用ノ如キハ被告人ニ負擔セシムヘキヤ
- 第四條 即決例第八條以下ノ處分ヲナシ留置中正式裁判ヲ請求シ留置期限ヲ經過スルモ呼出狀到達スル迄ハ留置スヘキヤ
- 第五條 留置ノ費用ハ何ノ支辨ニ屬スヘキヤ
- 第六條 官吏職務ヲ行フニ當リ發覺シタル違警罪暨へハ收稅検査員ノ證券印稅規則違犯者等ノ告發ハ違警罪裁判所檢察官若クハ警察署長又ハ其分署長等ニ告發スヘキモノナルヤ果シテ然リトセハ警察署長及分署長等ニ於テ受理シタル事件ハ直ニ即決スヘキヤ
- 指令 明治十九年三月五日(內務司法省)
- 第一條 客年司法省丙第九號達ノ通
- 第二條 客年司法省丙第十一號達ノ通調製スヘシ
- 第三條 送達手續ノ儀ハ伺ノ通費用ハ被告人ニ負擔セシムルノ限ニアラス
- 第四條 留置期限ヲ經過シタル時ハ直ニ釋放スヘシ
- 第五條 監獄費ヨリ支辨スヘシ
- 第六條 見込ノ通

農商務省

○獸醫假開業免狀有効年限ノ件(千葉縣)伺 明治十九年三月八日
 獸醫假開業免狀ハ地方ノ情況ニヨリ獸醫乏シキト認め授與ノ具申ヲナスモノナレハ後來獸醫成出ノ見込アルニ於テハ豫メ假免狀ノ有効年限ヲ定メ具狀不苦哉
 指令 明治十九年三月十六日

伺ノ通
 ○獸醫ノ件(沖繩縣)伺 明治十九年三月十七日
 獸醫ヲ開業セント欲スル者ハ明治十八年第八號布告ニ基キ農商務省ノ免狀ヲ得ルニアラサレハ施術スルヲ得ス又獸醫ニ乏シキ土地ハ規則第五條ニ依リ試驗ヲ要セス假開業免狀ヲ下附スルノ明條アルモ本縣ノ民情風俗ハ特殊ニシテ元來醫術ヲ賤ムノ風習アリ隨テ入醫スラ仍且進歩セス目下其需用ニ乏シキヲ以テ折角醫生養成中ナレモ殊ニ獸醫ニ至リテハ從來類似ノ業ヲ營ム者ナシ就テハ追テ醫學生ノ内ヲ選抜シ該醫修業セシムヘキ計畫中ナレモ本縣ハ往古ヨリ牛羊豚ヲ飼養シテ以テ常食ニ供スルノ習慣アリ爲ニ家畜夥多ニシテ往々傳染病等ノタメ斃死スル者少カラス殊ニ規則實施ノ日ニ至リテハ屠獸検査(豚類ノ紐石ヲ)傳染病豫防消毒等差支ノ場合多々有之該醫營業者出來候迄ハ右豫防等ノ儀縣下開業醫ニ於テ取計候様致度既ニ獸醫免許等ノ儀ニ付テハ岩手外二縣ヨリ伺へ御指令ノ趣モ有之候得共本縣ノ儀ハ實ニ不得止儀ニ付特別ノ御詮議ヲ以テ御裁可相成候様致度
 指令 明治十九年三月十六日

伺ノ趣難開居事

○蠶藥發賣禁止ノ件(山梨縣)伺 明治十八年十一月十一日

鑑病ヲ醫スル目的ヲ以テ其効能書ヲ附シタル藥劑ノ發賣ヲ願出ル者アリ右ハ賣藥規則第三條ニ依リ調査ノ上配伍ノ藥品ニ就キ支障ナキ以上ハ之ヲ許可セサルヲ得サル儀ニシテ從前已ニ許可シタルモノアレド其藥方用方等多クハ無稽ニ出ルヲ以テ自然齷體ノ生機ヲ障害スルノ恐アルノミナラス養蠶者ヲシテ該藥劑ニ依信シ却テ飼養上必用ノ注意ヲ缺カシムルモノ往々有之趣相聞ヘ蠶業獎勵ノ妨害實ニ不尠依テ是等ノ藥劑ハ從前已ニ許可シタルモノト雖モ其營業請賣共一切之ヲ禁止スルモ不苦哉且爾後出願スルモノニシテ右等ノ眞アルモノハ假令賣藥規則第三條ニ抵觸スル所ナキモノト雖モ許可ヲ與ヘスシテ苦シカラサル哉

指令 明治十九年三月十八日(内務農務省)

伺ノ通

○獸醫開業試驗願ノ件(栃木縣)伺 明治十九年三月二十四日

甲地ニ於テ獸醫開業試驗ノ許可ヲ得タルモノ病ノタメニ缺席シ乙地ニテ試驗ヲ願フルハ許可セラルヘキヤ

指令 明治十九年三月二十五日

伺ノ趣試驗規則第六條ノ外許可セス

内閣法制局裁定

裁定書

富山縣令 國重 正文
富山縣會議長 米澤 紋三郎

右縣令ト縣會トノ間ニ於テ明治十八年度營業稅雜種稅ノ件ニ付權限ヲ爭ヒ府縣會規則第九條ニ依

リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

明治十八年度ノ通常縣會ニ於テ營業稅雜種稅課目課額ノ議案中課別法區別ノ首メニ掲ケタル商業中卸賣小賣雜商工業中製造所職業ノ稅ハ其營業者ノ員數ヲ目安トシ各稅區ニ賦課スルモノトス每稅區内各自ノ課額其町村會又ハ聯合町村會ノ評決ニ據ル若シ開會スル不能等ノ事情アルハ前年ノ商金高^{商金高ト見做ス}ハ十倍ヲ以テ依リ員數ヲ計算シ左ノ區別ヲ以テ賦課スルモノトスト云フノ一項ハ縣會之ヲ可決シ^{修正}區別ハ縣令之ヲ認可シ而シテ本年五月甲第二十八號ヲ以テ管内ニ布達セリ然ハ則チ其項ノ若シ以下即チ後段ノ場合ヲ除クノ外ハ各町村會又ハ各聯合町村會ニ於テ適宜各自ノ課額ヲ評決シ得ヘキコトタルハ決シテ疑ヲ容レサル所ナリ然ルニ縣令ハ本年五月乙第四百四號ヲ以テ地方稅營業取扱順序ナルモノヲ達シ其中ニ議案調理方ハ每稅區内各營業者ノ前年中商金高ヲ取調ヘ左表ニ照シテ員數ヲ計算シ之ニ依テ每戶長所轄ノ當額或ハ各自ノ課額ヲ算出スヘント云フノ條ヲ載セシニ付郡長戶長ハ町村會ヲシテ必ス此員數ニ依テ評決セシムヘキヤ否ヲ伺ヒシニ縣令ハ此員數ニ依ラスシテ評決スルヲ許ス可ラサルノ主旨ヲ以テ指令セリ是ヲ以テ各戶長ハ盡ク商金高ノ員數ニ依テ編製シタル議案ヲ發シ以テ町村會ヲ檢束シ此員數ニ依ラスレテ評決スルコトヲ許サス若シ此檢束ヲ受ケサラントスル者アレハ輒チ前陳ノ乙號達又ハ何指令ヲ示シ之ニ違フタル評決ハ無効ナルカ故ニ施行スヘカラストシテ之ヲ制止シタリ強テ此員數ニ依ラスシテ評決セシ町村會アレハ戶長ハ直チニ縣令ノ指揮ヲ請テ原案ヲ施行セリ是ニ由テ縣令ハ縣會ノ議定ヲ破リタルヲ明知セシト雖府縣會ハ結合體ノ者ナルカ故ニ今同ノ議會即チ明治十九年度ノ通常縣會ヲ待テ始メテ之ヲ質スコトヲ得シナリ先ツ質スニ縣令ハ町村會ノ評決ヲシテ必ス商金高ノ員數ニ依ラシムルノ意見ナリシヤ否ヤヲ以テセシニ縣令代理人ハ必ス商金高ノ員數

ニ依ラシムルノ意見ナリト答ヘタリ次ニ果シテ然ラハ其箇數ニ依ラサルノ評決ハ戸長ヲシテ之ヲ施行セシメサリシヤ否ヲ質セシニ縣令代理人ハ其箇數ニ依ラサルノ評決ハ盡ク施行セシメサリシナリ而シテ竟ヒニ五六町村會ニ及ヒタリト答ヘタリ後又曰前キニ答ヘタル商金高ノ箇數ニ依ラサリシヲ以テ其評決ヲ施行セシメサリシハ僅カニ一村會ニシテ且唯箇數ニ依ラサリシノミヲ以テノ故ニ非ラス別ニ不當ナル處モアリシニ由テナリト假令後ノ辦明ニ從フモ箇數ニ依ラサルノミナラハ施行セシムルナリト言ハサル以上ハ箇數ニ依ラサルノミニテモ施行セシメサルノ意タルハ復タ掩フ能ハサルナリ是ニ至テ縣會ハ明治十八年度通常縣會ニ於テ議定シタル每稅區内各自ノ課額其町村會又ハ聯合町村會ノ評決ニ據ル云々トハ舉テ之ヲ該會ニ付托セシ者ニテ敢テ盡一ノ方法ニ依ルヲ要セス各地適宜ノ評決ヲ得セシムル主旨ナリシハ理ノ賸易キ者ナリ然ルヲ縣令ハ恣ニ方法ヲ設テ之ニ依ラサルヲ許サ、リシハ縣會ノ議定ヲ破リタル者ナリト謂フヲ以テ之ヲ縣令代理人ニ質セリ縣令代理人ハ之ニ答テ十八年度ノ營業稅雜稅課目課額ノ議案ハ十七年度ノ通常縣會ノ終リニ於テ縣會ヨリ建議セシ分配稅法ノ案ヲ採リテ編製セシ者ナルカ故ニ其課別法區別ノ首項ハ字句ノ如何ニ拘ハラヌ商金高ノ箇數ニ依テ各自ニ課稅スルノ意義ヲ含有セルコトハ縣會自ラ能ク知ル所ナリ故ニ其項ハ質問ト辦明ヲ要セス速ニ原案ヲ可決セシヲ以テ勿論之ニ含有セシ所ノ意義ハ縣會ノ是認セシ者ト信シテ縣令ハ之ヲ認可シ而シテ其含有セル所ノ意義ヲ以テ施行セシ者ニシテ敢テ議定ヲ破リタルニ非ラサルナリト辦明スル雖縣會ヨリ建議シタル分配稅法ノ案ニハ町村會ヲシテ各自ノ課額ヲ評決セシムルニモ必ス商金高ノ箇數ニ依ラシムルノ意義無シ假リニ一步ヲ讓テ其意義有ル者トスルモ建議ノ取捨ハ縣令ノ方寸ニ在ルヲ以テ條項ニモ其意義ヲ記載セス又之カ辦明モセサルニ於テハ縣會ハ何ニ由テ其含有セルコトヲ知ルヲ得ンヤ已ニ之ヲ知ルヲ得ス將タ何ニ由テカ之ヲ是非スルヲ得ンヤ其レ然リ之ヲ如何ニ評決スルヲ得ンヤ

ハ其意義ヲ是認セシ者ト信スルヲ得ヘケンヤ強テ縣令ハ之ヲ信セシ者トセンカ是レ信スヘカラサルコトヲ信セシ者ニシテ道理ト事實ノ許サ、ル所ナリ其過失ニ出テシモ故意ニ出テシモ議定ヲ破リタルニ至テハ則チ一ナリ是ヲ以テ縣令ハ府縣會規則第一條及ヒ明治十四年第六號布告ニ背キ其權限ヲ超越シテ議案ノ議決ヲ犯シタル者ナリト信認ス

縣令ノ答辦

富山縣會ハ明治十八年度ノ通常縣會ニ於テ議定シタル營業稅雜稅課目課額ノ件ニ付別紙具狀書ヲ提出シ以テ縣令ハ府縣會規則第一條及ヒ明治十四年第六號布告ニ背キ其權限ヲ超越シ縣會ノ議決ヲ犯シタルトシテ政府ノ裁定ヲ請ハントセリ然レモ臺モ右規則及ヒ布告ニ背キ縣會ノ議決ヲ犯セシコトアラス其所謂議決ヲ犯シタルトハ縣會自己誤認ニ出ルヲ以肯テ之レカ答辦ノ責ニ任セサルヘシト信ス今其仔細ヲ略陳センニ抑明治十八年度ノ該稅課目課額議案ハ則別紙ノ通ニシテ其商業中卸賣仲買小賣及ヒ其工業中製造所職業ノ稅ハ其營業者ノ員數ヲ目安トシテ之レヲ每稅區ニ賦課シ而シテ其每稅區内各自ノ課額ハ町村會又ハ聯合町村會ノ評決ニ據リテ定ムルコト、爲セリ而シテ縣會ハ之レニ對シテ片言ノ質問隻字ノ修正タモ爲サス直ニ之レヲ原案適可決セリ依テ其原案即議決ノ明文ニ據リ每稅區内各自ノ課額ヲ町村會又ハ聯合町村會ニ付シテ評決セシメ以テ之レヲ施行セシメタリキ然ルニ縣會ハ明治十八年度ノ通常縣會ニ於テ議定シタル每稅區内各自ノ課額ハ其町村會又ハ聯合町村會ノ評決ニ據ルトハ舉テ之レヲ該會付托セシモノニシテ敢テ盡一ノ方法ニ依ルヲ要セス各地適宜ノ評決ヲ得セシムルノ主旨ナリシニ縣令ハ恣ニ地方稅營業取扱順序ナルモノヲ達シテ每稅區内營業者前年中ノ商金高ノ箇數ニ依リテ議案ヲ編成シ以テ之レヲ町村會ニ付セシメ而シテ其箇數ニ依ラスシテ評決シタルモノアルキハ直ニ戸長ノ具狀ニ依リ之レヲ指揮シテ原案通施行セシメタリ是則縣令ハ縣會ノ議定ヲ破リ縣會ノ議決ヲ犯

シタルモノナリト謂フト雖其所謂町村會又ハ聯合町村會ノ評決ニ據ルトハ單ニ町村會ニ於テ各自ノ課額ヲ評決セシムル迄ノコトニシテ他ノ意義ヲ含有セス而シテ其之レヲ施行スルノ方法順序ヲ定ムルハ固ヨリ縣令ノ職權内ニ屬シ又其不適當ナル町村會ノ評決ニ關シ戶長ノ具狀ニ依リテ之レヲ指揮スルハ則區町村會法ノ規定スル所ニシテ毫モ縣會ノ權限ニ關係ナキモノトス況ンヤ十八年度ノ該稅課目課額ノ議案ハ其前年度ニ於テ比例稅法ヲ分配稅法ニ改正セシムルヲ縣會ヨリ建議セシニ因リ其主旨ヲ採リ發附セシモノニテ其建議文中ニ營業組合則町村會ニ於テ評決セシムルハ營業者ノ商金或ハ收得金高等ニ分配シテ營業者ノ徵收額ヲ定メシムル云々ノ主旨ヲ明言セリ而シテ今ヤ畫一ノ方法ニ依ルヲ要セス各地適宜ノ評決ニ任ストハ前後矛盾ノ言ト謂サルヲ得サルナリ右ノ理由ニ由リ縣會ノ具狀ニ對シテハ渾テ之レニ答辦スルノ限リハ非スト信認セ

審明

本件縣令ト縣會ト權限ヲ爭フト謂フノ要點ハ明治十八年度ノ通常會ニ於テ縣會カ地方稅徵收方法中每稅區内各自ノ課額ハ町村會又ハ聯合町村會ノ評決ニ據ルト議決シ縣令ノ認可ヲ得タリシニ縣令カ明治十八年五月乙第百四號ヲ以テ營業者前年ノ商金高ニ依リ箇數ヲ計算シ各自ノ課額ヲ算出スヘント郡戶長ニ達シ且箇數ニ依ラサル評決ハ之ヲ認可スヘカラサル趣旨ヲ以テ指令シタルハ縣會ノ權限ヲ犯シタリト謂フニ在リ依テ之ヲ審案スルニ縣會ノ議決ハ單ニ各自ノ課額ハ町村會又ハ聯合町村會ノ評決ニ據ルトアルノミニシテ其標準ヲ定メタルニ非ス而シテ縣令カ乙第百四號ヲ以テ商金高ニ依リ箇數ヲ計算シ各自ノ課額ヲ算出スヘント達シタルハ議案ヲ調製スルノ標準ヲ郡長戶長ニ示シタルモノニシテ町村會ノ權限ヲ抑制シタルニ非ス又其箇數ニ依ラサル評決ハ之ヲ認可スヘカラスト指令シタルハ其評決ヲ不當ト認メ區町村會法第四條ニ依リ行政上ノ權限ヲ以テ

處分シタルニ外ナラス之ヲ要スルニ縣會ノ爭フ所ノモノハ縣令行政上ノ處分ニ過キスシテ縣會ノ議決ニ關係ナキモノナリ法制局ハ府縣會規則第九條ニ依リ府知事縣令ト府縣會トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ權限ヲ爭フモノヲ裁定スル所ナルヲ以テ本件ノ如キハ法制局ノ裁定ヲ請フヘキモノニ非ス

判決

右ノ理由ニ依リ本件ハ法制局裁定ノ限ニ在ラス

明治十九年二月二十六日

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 審理委員長 | 法制局長官 | 山尾 庸三 |
| 審理委員 | 法制局參事官 | 周布 公平 |
| 審理委員 | 法制局參事官 | 廣瀨 進一 |
| 審理委員 | 法制局參事官 | 木下 周一 |
| 審理委員 | 法制局參事官 | 牧野 伸顯 |
| 審理委員 | 法制局參事官 | 廣橋 賢光 |
| 審理委員 | 法制局參事官 | 小池 靖一 |

○菓子増稅表記載方ノ件(秋田縣)照會 明治十九年三月十三日

本年二月大藏省第十五號達別冊中第二十三號表乙様式菓子製造營業増稅表中製造ノ下小賣ノ區畫ヲ設ケラレタルハ製造小賣ニ就キ其雇人ヲ區分スルモノ、如クナレバ元來二種以上ヲ兼キタル營業者ノ雇人ハ各種ヲ別タス之ヲ合算スヘキ成規ニ付第二十三號甲表ノ如キモ之カ區分ヲ要セサルモノト思ハル然ルニ本表ニ於テ區分調理スルモノトモハ製表上差支之アリ就中雇人三人以上ノ科目中小賣ノ欄ニ元雇人三人以上ノ區又雇人二人以下科目中小賣ノ欄ニ元雇人二人以下ノ區ヲ設ケタルカ如キハ如何ナル理由ナルヤ

大藏省主稅局回答 明治十九年三月二十六日

製造小賣ニ就キ其雇人ヲ區分調理スルノ次第ニハアラス初ヨリ製造者ニシテ其雇人ヲ増加シ又ハ元小賣專業者タリシモノ新ニ製造ヲ兼業シテ其雇人ヲ増加シ若クハ單ニ兼業シタル場合ヲ指スモノニシテ稅金ノ行ニハ増加ニ係ル稅額又員數ノ行ニハ此増稅ヲ納ムル營業者ノ員數ヲ掲記スルノ例ナリ即左ニ其例ヲ示ス

製造營業者ノ部 元雇人六人以上ノ者 此増稅者一人	同雇人三人ノ部 元小賣ニシテ雇人三人以上ノ者 兼業ニ入リ雇人ニ異動ナキ者 此増稅者一人
元小賣ニシテ雇人七人以上ヲ増シ此部ニ入ル 兼業ノ員數ニシテ雇人三人以上ノ者製造ヲ 兼子且雇人七人以上ヲ増シ此部ニ入ル	元小賣ニシテ雇人三人以上ノ者製造ヲ 兼業ニ入リ雇人三人以上ノ者製造 此増稅者一人
此増稅金 一圓五拾錢	此増稅金 一圓
此増稅金 一圓五拾錢	此増稅金 一圓五拾錢

○犯則等ニ依リ沒收ノ物件取扱方(石川縣)伺 明治十九年三月十九日

裁判所ニ於テ犯罪等ニ依リ沒收シタル物件ハ引繼キ便宜賣却ノ儀御達有之ニ就テハ該物件ノ内取

扱方疑義ノ廉左ニ

一 没收諸印紙ノ回移ヲ受ケタルハ本廳ノ受ニ組込ムヘキヤ
一 前項印紙ノ内烟草帶印紙ニシテ兩端ヲ縫合セタルノミニシテ消印等ナキモノト雖一旦裝置ノ用ニ供シタルモノハ燒却スヘキヤ

大藏省指令 明治十九年四月一日

伺之趣兩項共不取締無之様燒却可取計事

○菓子税則不納處分方ノ件(長野縣)伺 明治十九年三月二十四日

第一條 菓子製造營業ニシテ卸小賣兼業ノモノ當十九年前半期營業稅上納濟ノ後十八年第二期
七月ヨリ十二月三十一日製造稅徵收ニ方リ該稅不納ニ付キ成規ノ通直ニ處分ニ着手シ製造品並ニ
器械鑑札等ヲ差押ヘ營業ヲ停止セリ然ルニ卸小賣等ヲ兼ヌル者ノ營業稅ハ稅額多キ分ニ引付
ケ營業稅ヲ徵收スル儀ニ有之今營業稅ノ最多キ製造稅不納ノタメ製造營業ヲ停止スルハ兼業
モ之ト共ニ附帶シテ營業權消滅スル儀ナルヤ
第二條 單ニ製造稅ノ不納ニ係ルモノハ假令營業稅ハ重キ分ニ付キ徵稅スルモ製造營業ノミ停止
シ卸小賣ノ兼業ヲ不問ニ措クモノトスレハ卸小賣ノ營業稅ハ更ニ徵收セサルモ差支ナキヤ
第三條 卸小賣營業停止ノ限ニアラズトスレハ兼業ニ屬スル卸小賣鑑札面未書製造ノ文字ヲ塗抹
シテ取扱主任之ニ認印スヘキヤ
第四條 前條製造稅不納處分ヲ受ケ物件ヲ公賣ニ付シ其金額ヲ納稅ニ充テ剩餘アルハ本人ニ還
付シ不足アルハ官ノ損失ニ歸スルハ勿論假令公賣處分ヲ受クルモ納稅義務ヲ盡シタルモノハ重
ネテ營業スルヲ得ルモ若シ納稅義務ヲ了セサルモノ其不足稅ヲ完納シ營業出願スル場合ニ於テ
ハ其年ノ前半期營業稅ハ已ニ納濟ナレハ直ニ營業セシムヘキヤ又ハ更ニ營業稅ヲ徵スヘキ哉

大藏省指令 明治十九年四月一日

伺ノ趣左ノ通可相心得事

第一條 兼業ハ消滅セス

第二條 當期ノ營業稅ハ徵收スヘキモノニアラス

第三條 申出ノ通

第四條 卸小賣ノ兩業ニ對スル稅額ト製造業ノ稅額トヲ比較シ其増差アルモノハ其差額ヲ徵收
シタル上差額ナキモノハ直ニ營業ヲ許スヘシ

○菓子税ノ件(愛知縣)伺 明治十九年三月二十七日

菓子製造人ノ製造高ヲ帳簿ニ記載スルハ賣上高等ニ參照検査上緊要ナルモノナレハ之カ記載ヲ怠
リ又ハ詐偽ノ記載ヲ爲シタルモノハ稅則第十四條ニ包含スルモノト解釋シ該條違犯ノ廉ヲ以テ告
發シ可然哉

大藏省指令 明治十九年四月二日

伺ノ趣稅則第十四條ノ帳簿トハ稅則取扱心得書第十三項ノ菓子賣上帳及製造原品買入帳ニ限ル儀
ト可相心得事

○沒收物品公賣ノ件(新潟縣)伺 明治十九年三月二十三日

第一條 稅則違犯ニ係ル沒收物件中賣藥規則第二十二、二十三、二十四、二十五條ニ該當シ沒收セラ
レタル物品ハ配劑用法詳ナラサルモノニシテ公賣ニ付スルヲ得サルニ付キ廢棄スヘキヤ
第二條 賣藥規則第二十一條ニ該ル犯罪者ヨリ沒收シタル賣藥中無印紙ノモノハ直ニ需用者ニ拂
下クルヲ得ス若シ之ヲ公賣セハ稅則上許多ノ不都合ヲ醸生スヘキモノト思考候間前條同様取扱
フヘキヤ

明治十九年四月 指令 大藏省

大藏省指令 明治十九年四月五日
伺ノ趣總テ申出ノ通可相心得事

○神社費仕拂取扱方(岐阜縣)請求 明治十九年三月二十六日
當縣下美濃國不破郡宮代村國幣中社南宮神社及飛騨國大野郡宮村國幣小社水無神社ニ係ル常務ノ經費仕拂方ノ儀ハ大藏省令第五號取出取扱順序第五十條ニ據リ本縣會計主務官ヲシテ各受取人ヘ直チニ仕拂方可爲取扱管ニ有之候處遠隔ノ地方ニシテ且現金遞送ノ外仕拂ノ便無之執行方難行屆候條歲入歳出納規則第三十五條第七項ニ基キ現金爲取扱候様致度取出取扱順序第五十一條ニ據リ此段請求候也

內務省指令 明治十九年四月六日
書面ノ趣歳出取扱順序第五十條ハ神社常務ノ經費豫算定額ヲ十二分シテ月額ヲ神社ニ交附シ神社ハ現金ヲ以テ支拂ヲ爲ス儀ト心得ヘシ尤モ神社ニ於テ現金取扱方ノ順序及取締向等ハ其縣於テ適宜設示スヘキ事
但神社費ハ歳入歳出納規則第二十五條但書ニ依ルノ限リニアラス

○煙草營業者標札ノ件(岐阜縣)伺 明治十九年四月二日
煙草稅則第二十九條ニ據リ掲出スヘキ標札ノ儀ハ菓子營業者標札ノ通其兼業名ヲ併記セシメ可然哉

大藏省指令 明治十九年四月八日
伺ノ通

○古墳發掘ノ件熊本縣伺 明治十九年三月十九日

本縣宇土郡立岡村立岡山字西園野官林ニ於テ何者ノ所爲ナルヤ古墳發掘有之趣該地戸長ヨリ申出ニ付直ニ官吏ヲ派シ實查致サセ候處別紙圖面(附)ノ通ニ有之右ハ此儘ニ措キ候テハ不都合ニ付キ夫々再葬保存取計可申ヤ然ルルハ該費用ハ官費御下渡可相成哉

大藏農商務兩省指令 明治十九年四月十四日
伺ノ趣古墳取斂ノ儀關屆費用ノ備ハ十八年度雜件増費トシテ別途可下渡候條費額取調更ニ大藏省ヘ可申出事

○公判審問中拘留狀期限經過セントキ其効力有無ノ件(警視廳)伺 明治十八年八月十五日
茲ニ輕罪犯アリ檢事ヨリ直ニ公判ニ付シ審問中拘留期限經過シ收監狀ニ換ヘサルヨリ其旨檢事ニ通知セシニ公判ニ付シタル以上ハ關係セスト云ヒ公判判事ニ於テハ法律上明文ナントテ收監狀ヲ發セス又被告人ニ於テ異議ノ申立ヲナレタルニ收監狀ヲ發付スル如キハ總テ被告事件豫審中ノ處分ニ屬シ公判判事ニ於テ之ヲ發スルハ法律ニ規定スル所ナシ然ラハ拘留狀ヲ執行シタルヨリ十日ヲ經過スルモ既ニ公判判事ノ管理ニ屬スル以上ハ其効力ノ消滅スルモノニ非スト判決セリ抑拘留十日ヲ過クルコトヲ得サルハ治罪法ニ明文之アリ又檢事ヨリ直ニ公判ニ付シタル事件ニシテ拘留十日ヲ過クルルルハ治罪法第二百二十七條第二項ニ從ヒ檢察官ノ請求ニ依リ更ニ十日間拘留ヲナシ又ハ公判判事ニ於テ收監狀ヲ發スルヲ得可キ官往々御指令有之就テハ公判判事ト雖モ收監狀ヲ發スルヲ得ルハ勿論ニシテ若シ其處分ヲナサハ典獄ニ於テハ令狀ナキ被告人ヲ拘留スル不能ヲ以テ直ニ解放セサルヲ得ス然ニ前顯判決ニ依テ見レハ拘留十日ヲ過クルモ其効力ヲ有スルモノ、如シ右ハ果シテ効力之アルモノニ候ヤ若シ之ニ反レテ効力ナキモノトセハ前顯ノ如キ判決アリタル場合ニ於テハ如何相心得可然哉

司法省指令 明治十九年四月九日

同ノ趣被告事件ヲ公判ニ付シタル後ハ治罪法第二百七條ノ規則ニ據ルヘキモノニアラス即チ裁判宣告ニ至ルマテ拘留狀ノ効力ヲ有スルモノト心得ヘシ

○積荷證書印紙貼用ノ件(新潟縣)照會 明治十九年四月九日

海運營業者アリ荷主ヨリ貨物ノ運送ヲ依託セシトキ別紙一號二號ノ如キ證書ヲ發セリ然ルトキハ該證書ノ性質ハ專ラ運送ヲ目的トシテ依囑セシモノナレハ設令他ノ性質ヲ含有スルモ之ヲ送狀ノ部類ニ編入スヘキヤ又ハ其運送ヲ目的トスルモ貨物到達マテノ間ハ該社ハ荷主ニ對スル預リ主ナレハ之ヲ預證ノ部類ニ編入スヘキヤ(別紙略ス)

大藏省主税局回答 明治十九年四月十九日

回漕營業者ヨリ發スル所ノ積荷證書印紙貼用ノ儀ハ其性質効用全ク送狀ト認メ取扱フヘシ

○徵稅令書紛失ノ節取扱上ノ件(京都府)伺 明治十九年四月十三日

徵稅令書金額ニ對シ數回分納ヲ爲シタル後其令書紛失又ハ燒失流失セシトキ戶長於テハ更ニ郡區長ニ令書ノ再渡方ヲ請求シ而シテ完納ノ都合ヲ爲スヘキ哉果シテ然ラハ其令書ノ裏面ニ郡區長ハ再製ノ事由ヲ記載シ前令書ノ番號ト同一ノ號ヲ付シ可然哉將又右再製ノ分ヲ戶長金庫へ持參シ義キニ領收ノ證アリシ分ヲ更ニ記入證印方ヲ請ヒ可然哉

大藏省指令 明治十九年四月二十二日

但郡區長ハ令書再製事由裏書ヲ了スルト同時ニ其旨金庫ニ通知スル儀ト心得ヘシ

○師範學校卒業者報告方ノ件(山形縣)伺 明治十九年四月十二日

御省令第六號但書ニ既廢ニ係ル官立師範學校ノ卒業者ハ東京師範學校ニ(中略)報告セシムヘシト有之候處右ハ有効満期ニ相成更ニ他府縣師範學校ニ於テ考績卒業證書ヲ得タル者ト雖東京師範學校ニ報告セシムヘキ儀ニ候哉又ハ考績卒業證書ヲ得タル師範學校ニ報告セシム可然歟

文部省視學官通知 明治十九年四月二十四日

本月十二日附ヲ以テ御伺出相成候舊官立師範學校卒業者報告方ノ儀ハ更ニ他府縣師範學校ニ於テ考績卒業證書ヲ得タルモノト雖東京師範學校へ報告セシムヘキ儀ニ有之又報告期限ノ儀ハ御見込ノ通ニテ可然文部大臣ノ命ニヨリ此段及御通知候也

○官舎宿代金取扱ノ件(逕信省)照會 明治十九年四月七日

官舎宿代金ハ取立高ノ内修繕費ニ充ツヘキ分ヲ引去リ殘金三箇月毎ニ取繼メ國庫ニ納付スヘキ成規ナリシカ今回ノ歳入歳出納規則ニ據レハ收入ニ係ル現金ハ渾テ金庫ニ納付スルハ勿論ニシテ且ツ此等ハ納領報告書ヲ發シ徵收スルモノナレハ到底從前ノ如ク收入高ノ内修繕費ヲ分裂シテ主管廳ニ備置クコトハ實際難相成然ルルハ該修繕費ハ如何取計フヘキヤ

大藏省回答 明治十九年四月十四日

歳入歳出納規則第十七條ニ據リ現金ヲ以テ收入ノ上國庫ニ納入スヘキ分ハ同第二十七條ニ據リ取扱ヒ修繕費ニ充ツヘキ分ハ主管廳ニテ管守スヘシ

○歳出取扱順序ノ件(福岡縣)伺 明治十九年四月九日

第一條 仕拂切符ヲ振出スニハ順序第五條ニ據リ正當受取人ニ對シ各自ニ交付シテ其領收證ヲ徵スヘキハ勿論ニ候處窮民恤救ノ如キハ癘疾疾病老幼者等自活ハ勿論他ニ依ルヘキノ救護者モ無之遂ニ凍餒ニ迫ルノ窮極ニ際シ救助ヲ哀願スルモノニシテ其境遇ヲ問ヘハ眞ニ乞食ニ類似シ眼中會テ一丁字ヲ辦スル者無之且數十百人ノ多キ一々各自ニ對シ切符ヲ交付シ其領收證ヲ徵スルハ實際困難ニシテ他人ヘ代書ヲ依頼シ多少ノ筆紙墨料ヲ出費セシメサレハ之ヲ徵スルコト能ハス共費金タルヤ他ニ一物ノ私財ナキヲ以テ官給ノ内ヨリ出費セシメサレハ難得場合ニ至ル況ンヤ村落ニ至リテハ郡衙ヲ距ル四五里ノ場所モ有之更ニ又現金仕拂所ヘ至ル等彼是往復スル如キハ活動不充分ナル不具者ニ於テ困難ノ狀況不鮮又棄兒養育ノ如キモ數百人ノ多キ同一ノ狀況ニ付右等ハ郡區長若シクハ戶長ヲ以テ一所轄内受救者ノ代受人ト定メ之ニ向テ一紙合計ノ切符ヲ交付シ其領收證ヲ徵シ郡區長若シクハ戶長ニ於テ現金ヲ以テ受救者各自ヘ分與支給候様致度候

第二條 徵兵檢丁旅費ノ如キ全管内凡一萬有餘ノ壯丁ニシテ一行政郡區ニ一箇所乃至二箇所ノ檢

查所ヲ設置シ最寄檢丁ヲ召集檢査候儀ニ付一人旅費額ハ僅少ノ金員ト雖モ僻陬ノ小民ニ至リテハ之ヲ以テ當日ノ雜費ニ充テ候モノナレハ各自ノ請求ヲ待テ切符ヲ振出シ郡區役所へ送致交付候テハ此間幾多ノ日子ヲ費スノミナラス再ヒ郡區衙へ出頭スルニアラサレハ受取得サル等彼是不便ノ情狀モ有之候條右等ハ當初概算ヲ以テ郡區長へ切符ヲ交付シ置キ檢査當日郡區長ニ於テ現金ヲ以テ各自里程ニ應スル相當旅費日當ヲ支給セシメ一所轄内檢査終結ノ上概算渡金ノ精算ヲ遂ケ候條致度候

第三條 公債證書又ハ利子賦金等ノ支拂ヲナスルハ公債證書若シクハ利札賦札ニ對シ仕拂切符ヲ交付スヘキモノニシテ即チ證書又ハ利札賦札其物ニ對シテ支拂フヘキモノニ可有之然ルニ多數ノ枚數每期交付期節ニ臨ミ切符發行ニ當リ一時手數ノ煩繁ナル或ハ間ニ合兼候場合モ有之候條譬ヘハ一人ニテ數百枚ヲ持參スルモノヘハ同種類ノ分ヲ合括シ合計高ニ對スル一葉ノ切符ヲ製シ即所有者其人ニ對シ仕拂候條致度候

大藏省指令 明治十九年四月二十六日
歳出取扱順序ノ儀同第一第三條ハ同ノ通第二條モ郡區長各受取人ノ代理タル資格ナレハ同ノ通

○需用ノ見込ナキ煙草印紙返納方ノ件(新潟縣)同 明治十九年三月九日
煙草印紙明治十六年中改正以降各種御渡ノ内爾後今日ニ至ル迄需用ノ見込ナキ分六百二十二万八

百三十五枚別紙仕譯書ノ通返納致シタシ(別紙仕譯書ノ略ス)
大藏省指令 明治十九年四月二十九日
但運搬荷造等ノ手續ハ主稅局ヨリ更ニ通達スヘシ

○公立學校用地免稅ノ件(愛媛縣)同 明治十九年四月十九日
同ノ趣聞屆候事

勅令第十六號諸學校通則第五條ニ公立學校ノ用地ハ免稅タルヘシトアリ右用地トハ牧場ハ勿論運動場文庫敷農學實驗用ニ供スル土地等ノ本校一區域外ニ在ルモノト雖荷モ該校ノ所用ニ屬スルモノハ學校ノ所有ト否トニ拘ラス總テ免稅可相成儀ト心得然ルヘキヤ

大藏省指令 明治十九年四月三十日
公立學校ノ所有ニ屬セサルモノハ免稅相成ラス

○煙草稅則ノ件(愛媛縣)同 明治十九年四月二十二日
煙草稅則第六條ヲ犯シタルモノハ同則第三十八條ニ仍リ處斷スヘキ管ノ處第六條ニハ煙草營業者自己又ハ家族僱人(雇主ノ家ニア)ヲ以テ仕入又ハ出賣ヲナサシムルルハ云々トアリテ仕入出賣ヲナスハ自己又ハ家族僱人ニ限ルノ明文無之ニ付キ雇主ノ家ニ在ラサル其日雇ノ者及非雇ノモノヲシテ仕入又ハ出賣ヲ爲サシメタルモノアルモ第三十八條ノ限外トシ其營業本人ヲ稅則第五條ノ違犯者トシテ第三十四條ニ照シ告發シ然ルヘキヤ
煙草營業人ニシテ他同業者ノ家族僱人(仕入出賣鑑札)ニ依テ仕入出賣ヲナサシメタル者ハ準據スヘキ正條無之ニ付キ不問ニ置キ然ルヘキヤ

大藏省指令 明治十九年五月四日
第一項 煙草營業者ニシテ非雇人若クハ其家ニ在ラサル雇人ヲ使用シ無鑑札仕入出賣ヲナサシメタル者ハ第六條ノ違犯トス
第二項 煙草營業者ニシテ同業者ノ家族僱人ニ其仕入出賣ヲナサシメタル者ハ亦第六條ノ違犯トス

○米商會所資本金ノ内營業保證公債證書價格ノ件(滋賀縣)同 明治十九年四月二十一日

米商會所條例第三條第三節會所資本金總高三分二ニ當ル營業保證公債證書價格ノ儀ニ付キ去十五年十二月相候處伺ノ趣十三一年一月大藏省乙第一號達ニ據リ可致處分旨御指令相成然ルニ該御達書中ニハ社寺配當銀金札引換中山道鐵道公債證書ノ三種ハ登載無之右證書ヲ以營業保證トシテ差出候節價格ハ何レニ準據取扱可申哉

農商務省指令 明治十九年五月六日

伺ノ趣該抵當價格ハ今後左ノ通心得ヘシ

額面	保證額
一 割利付金庫公債證書 百圓ニ付 百圓	一起業公債證書 百圓ニ付 八拾五圓
一 七分利付同 同 九拾圓	一金札引換公債證書 同 百圓
一 六分利付同 同 八拾五圓	一新公債證書 同 七拾貳圓
一 五分利付同 同 七拾七圓	一 中山道鐵道公債證書 同 九拾五圓
一 神官配當銀公債證書 同 九拾貳圓	

○判任官俸給支給細則ノ件(靜岡縣)伺 明治十九年五月六日
省令第二十號判任官俸給支給細則ハ地方廳ニテモ適用シ可然哉

大藏省指令 明治十九年五月八日

當省令第二十號ハ官制改革ナキモノニハ適用セズ

○非營業者無印紙刻煙草所持ノ件(山形縣)伺 明治十九年四月三十日

爰ニ非營業者ニシテ無印紙刻煙草(四百玉造百)ヲ所持セルモノアリ依テ其事由ヲ尋問セシニ相當利潤ヲ得買捌クヘキノ目的ヲ以テ鹽銜十二尾ト(見取代金)貿易セシモ未タ買捌ヲナサハル旨陳述セリ右ハ既ニ買捌クヘキノ目的ヲ以テ現品ノ仕入ヲナシタルモノナレハ買捌タルト否トニ拘ラス稅

則第三十四條ニ據リ告發シ可然ヤ又ハ未タ買捌カサルモノハ自用者ト看做シ同則第四十三條ニ據リ告發シ然ルヘキヤ

大藏省指令 明治十九年五月八日

伺ノ趣後段申出ノ通相心得ヘシ

○皇城建築納金納付方ノ件(群馬縣)伺 明治十九年五月十日

皇城建築納金ヲ今般被開屆シモノ有之金額ハ御省ヘ納付スヘキ旨宮内大臣ノ御指令アルニ付テハ右金額科目ハ第二部歳入雜收入中ノモノニシテ出納規則第十六條但書諸寄付金ノ類ト心得現金ヲ收入シ納付證ヲ以金庫ヘ納付取計然ルヘキヤ

大藏省指令 明治十九年五月十四日

伺ノ趣從前ノ通別途金ト相心得納入方ノ儀ハ歳入歳出出納規則第十六條但書ニ準シ取扱フヘシ但從前ノ上納書ニ倣ヒ其時々報告書差出候儀ト心得ヘシ

○徵兵ノ件(福岡縣)伺 明治十九年四月二十三日

癘疾不具重罪等ノ事故アルヲ以テ廢嫡シ跡更ニ定メタル嗣子又ハ六十歲未滿ノ戶主同上ノ事故ニ因リ退隱シタル跡戶主等徵兵適齡ナルト前嗣子前戶主ハ同籍ニアラサルモ猶豫ニ屬スヘキ儀ニ候哉

陸軍省指令 明治十九年五月十三日

伺ノ通

○證券印紙ノ件(愛知縣)伺 明治十九年四月二十九日

茲ニ木綿問屋業ノ者アリ自己ノ店舗ニ於テ木綿仲買人ヨリ木綿購求ノ際其品位ヲ鑒定シ價格相場

明治十九年五月 指令 大藏省 陸軍省

ヲ約定ノ上其價格等違約ナカランメン爲メ買主ニ於テ一ノ帳簿ヲ製シ其初丁ニ直段決定ノ上ハ買主ノ自筆ヲ以テ木綿ノ種目及直段ヲ記載シ買受人ニ差出シ檢印ヲ受ケタル後ハ何様ノ相違アルモ此帳簿ヲ確證トスヘキ旨ノ契約文言ヲ明記シ買渡人數十名ヲシテ漸次記載セシメタル別紙寫ノ如シ斯ノ如キモノハ素ヨリ甲乙二名ノ間ヲ互交スル通帳ニアラサレハ一紙證書ニスヘキ性質ノモノト解釋セリ果シテ然ラハ假令便宜上ヨリ之ヲ帳簿ニナスモ毎廉ニ買渡人ヲシテ相當印紙ヲ貼用スヘキハ當然ナルニ之ヲ貼用セスシテ既ニ授受使用セシモノハ買主買主トモ證券印稅規則第二類諸物品賣買證文ノ項ニ據リ同則第十九條ニ準據シ處分スヘキヤ

(別紙)

木綿買附帳

此賣附帳簿ハ直段決定ノ上ハ自筆ヲ以テ種目及直段ヲ記載シ買受人へ差出シ檢印ヲ受ケ通帳ヲ添ヘ帳場へ可差出候事然ル上ハ何様ノ相違有之候トモ此帳簿ノ記載ヲ確證ト可致候者也

年月日 證

某村

何某印

年月日

一長九反

一打付圓ニ付二反六步替

一打付圓ニ付二反七步五厘替

一打付圓ニ付二反七步五厘替

右正ニ賣附候也

同人印 (賣印ナキモノモアリ)

(以下三百三麻附込アリ人員四十八人ナリ)

大藏省指令

明治十九年五月六日

伺ノ趣稅則第二類第五項ノ諸物品賣買證文ヲ便宜ノ爲メニ豫メ帳簿トナス者ハ其附込見積金高ニ隨ヒ帳簿主ニ於テ使用以前相當印紙ヲ貼用セシムヘシ但印紙不貼用ニテ使用セシモノ處分ノ儀ハ申出ノ通

○在府縣獄囚徒費仕拂方ノ件(岡山縣)伺 明治十九年五月四日

一押送費ハ豫メ期定シ難キ支出ニシテ從來各警察署ニ於テ一時繰換仕拂置一箇月分ツ、取纏メ該署ヨリ請求セシメ仕拂候處今般歳入歳出納規則執行ニ付該規則ニ據ルルハ各受取人ニ對シ支拂切符ヲ發シテ之ヲ交付スヘキモ隔地ニシテ其時々執行シ難キ無止儘ニ付從來ノ通繰換サセ其請求人即チ警察署長ニ對シ仕拂切符ヲ交付シ可然哉

一囚徒在監諸費ノ儀モ地方費監獄費ニ混一ニ仕賄フヘキモノニテ之ニ對スル受取人區分シ難キニ由リ規則第五十九條ニ據リ現金支拂ヲ貴省へ請求スヘキ儘ニ候哉

內務省指令

明治十九年五月十四日

一移轉費正當受取人ニ對シ仕拂切符發行シ難キ分ハ警察署へ概算ヲ以テ交付スヘシ

一囚徒在監費ハ本年四月二十八日訓令但書ノ通

但十九年度以降ハ押送費ヲ移轉費囚徒在監諸費ヲ囚徒在監費ト改ム

○二十年年度豫算標準額ノ儀ニ付キ(岐阜縣)照會 明治十九年五月十四日

二十年年度豫算ノ標準額ハ十八年度ハ九箇月ナルニ付十七年度以前三箇年ヲ適用シ然ルヘキヤ

大藏省回答 明治十九年五月二十一日

明治十九年五月 指令 內務省 大藏省

二十年度豫算標準額ノ儀照會ノ通

○米商會所保證金預リ方ノ件(石川縣)伺 明治十九年五月十二日

明治九年八月太政官第五號布告米商會所條例第三條第三節頭取肝煎等資本金總高三分ノ二ニ當ル現金或ハ日本政府ノ公債證書ヲ預リ置クヘキ成規ノ處右ハ國立銀行ノ外大藏省預金局並驛遞局貯金預ケ金證券ニテモ預リ方同様取計可然哉

農商務省指令 明治十九年五月十八日

米商會所保證金預リ方ノ儀伺ノ通

○在府縣獄囚徒費ノ件(靜岡縣)伺 明治十九年五月五日

移轉費ノ儀ハ集治監入囚徒護送ノ都度管下沿道各警察署於テ該署諸費ノ内ヲ以テ囚人膳料人力車賃橋錢藥價等一時繰替置其實費請求ニ依リ支出取計來リ候處十九年度以降ト雖モ右ニ取計可然哉若シ然ラサレハ他府縣ヨリ護送ノ囚人通行ニ際シ差支候ニ付該費ニ限リ豫メ沿道警察署ヘ概算ノ支出取計可然哉尤後段ノ如ク概算支出取計候キハ正當受取證書ハ月々歳出報告書ヘ添付致兼候ニ付一周年度決算ノ節ニ至リ取束ネ進達シ可然哉

內務省指令 明治十九年五月十五日

後段伺ノ通取計正當受取人ノ領收證書報告書ト同時ニ送致シ難キ分ハ支拂人ノ證書差出シ置其正當證書ハ翌月分ト俱ニ送致スヘシ

○證券印紙貼用方ノ件(神奈川縣)照會 明治十九年五月十九日

本月十八日官報中證券印紙貼用方ノ儀ニ付キ愛知縣ヨリノ伺ニ對スル指令ヲ閱スルニ證券印紙規

則第二類第五項諸物品買賣證又ハ便宜ノ爲メ豫メ帳簿トナスモノハ其附込見積金高ニ隨ヒ帳簿主ニ於テ使用以前相當印紙ヲ貼用セシムヘシトアリ就テハ客歲五月二日本縣電報伺(證券印紙規則中第一類第二類ノ證書ヲ帳簿トナシ數人ノ分ヲ附込ムモノハ同規則第三條ニ準據スヘキヤ)ニ對スル同月十六日電報御指令(本月二日電報證券印紙稅伺ハ廉每ニ稅率ニ照シ相當印紙貼用セシムヘシ)ハ自然消滅候儀ナラヤ

大藏省主稅局回答 明治十九年五月二十二日

本月十八日官報中證書印紙貼用方愛知縣伺并指令掲載アルニ付貴縣客年五月二日電報伺ニ對スル指令消滅云々了承右ハ愛知縣ヘノ指令ハ第二類ノ證書ニシテ同項同稅率ノモノニ限リ附込見積金高ニ隨ヒ使用以前相當印紙貼用セシムヘシトノ旨趣ニアリ就テハ昨年五月二日貴縣電報伺ニ對スル指令中前件旨趣ニ抵觸スル廉又ハ自ラ消滅シタル儀ナリ

○招魂社費決算證書ノ件(鹿兒島縣)伺 明治十九年五月十九日

本縣官祭招魂社ニハ別ニ神官ヲ置カス縣廳ニテ直轄スルニ付御省訓令第一號證書ハ其主任官ヨリ差出サセ決算證明然ルヘキヤ

內務省指令 明治十九年五月二十七日

招魂社祭典ハ神官ヲシテ取扱シメ其神官ノ證書ヲ以テ決算證明スヘシ

○神社費決算整理科目ノ件(三重縣)伺 明治十九年五月二十日

今般御省訓令第十號ヲ以テ十八年度以前ニ屬スル神社費及招魂社費殘金仕拂切ノ儀御達相成候ニ就テハ右決算整理科目ノ儀神社費ハ同費中某神社ノ中科目ニ各「雜件」ノ小科目ヲ設ケ仕拂殘金拂切ノ細科目トナシ又招魂社費ハ同費中仕拂殘拂切ノ細科目ヲ設ケ決算整理ヲナシ然ルヘキヤ

(大藏省)指令 明治十九年五月二十九日
伺ノ趣神社費ノ儀ハ神社費ノ大科目某神社ノ中科目中ニ各雜件ノ小科目仕拂殘金拂切ノ細科目招魂社費ハ某府縣ノ大科目招魂社費ノ小科目ニ仕拂殘金拂切ノ細科目ヲ設ケ候條右ニテ決算整理スヘシ

○第二部歳入科目更正方ノ件(愛知縣)上申 明治十九年五月十九日
一金三圓三拾五錢 名古屋國庫金取扱所 駿川出張場ニ納入

但十九年四月十六日東春日井郡長納
右十九年度官有物貸下及拂下代ノ内地所拂下代トシテ納入スヘキ分同年度森林收入林地拂下代トシテ相納メ科目誤謬ノ儀此節發見致シ候間御更正相成度此段及上申候也

(大藏省)指令 明治十九年五月二十八日
上申ノ趣主管廳ニ送付セシ歳入報告書ノ内誤納ノ分扣除ノ儀主管廳ニ申報シ當省ニハ歳入報告書ノ追加トシテ報告スヘシ

○煙草稅則適用ノ件(岩手縣)伺 明治十九年五月二十六日
煙草非營業者ニシテ刻煙草(成規ニ據リ裝)ヲ買入之ヲ自用者ニ販賣セントシ店頭ニ陳列シ又ハ行商ノ途ニ登リタルモ未タ販賣セサルニ先テ發見シタルモノハ本月八日山形縣伺ニ對シ御指令(報官第八百五十七號)ノ趣ニ據ルルハ自用者ニ當ルヲ以テ適用スヘキ罰條ナキカ如シ然ルニ十六年六月十八

明治十九年六月 指令 大藏省

日租第五號御訓示ニ對照考察スルハ唯稅目ノ異ナルノミニテ之ヲ不問ニ措クハ權衡上穩當ナラサルニ付烟草稅則第二十四條ニ據リ告發スヘキヤ

(大藏省)指令 明治十九年六月四日
伺ノ通

○質取主ヨリ差出ス納稅證書ハ印紙貼用ノ件(滋賀縣)伺 明治十九年五月二十八日
明治六年一月第十八號太政官御達地所質入書入規則第六條ニ質入ノ地所ハ金主ニテ其地所耕作可致管ニ付テハ地租諸役トモ總テ金主ニ於テ可相勘但其段管轄屬ヘ届出證書差出スヘト之アリ候處十七年三月第七號布告地租條例第十二條ニ質入ノ土地ハ其質取主ニ於テ地租相納ムヘキ旨ノ明文之アリ加フルニ本年三月閣令第三號ヲ以テ歲入歳出納規則御制定ニ付郡長ハ同則第十九條ニ依リ徵稅令書ヲ發シ戶長ハ同則第二十條ニ依リ徵稅傳令書ヲ發スヘキ順序ニシテ管屬ニ於テハ證書ヲ差出サシムル必要之ナキニ付質入書入規則第六條但書ハ自ラ消滅ニ屬シタル儀ト心得然ルヘキヤ否ヤ相伺候處司法大臣ヨリ伺ノ趣地所質入書入規則第六條ノ但書ハ消滅シタルモノニ非サル旨指令之アリ然ルニ地租ハ質入主ニ於テ可相納旨地租條例ニ明文之アル以上ハ管屬ト質取主ト別ニ契約ヲナスニ及ハサルハ勿論ニ付規則第六條ニ證書可差出トアルモ該證書ハ契約ノ性質ヲ有スルモノニ非スシテ質地ヲ届出ルニ止マルモノナレハ證券印稅規則ノ範圍外トシ然ルヘキヤ
(大藏省)指令 明治十九年六月四日
伺ノ通

○高等官俸給支給細則ノ件農商務省照會 明治十九年六月二日
高等官俸給支給細則第十四條ニ會計ヲ異ニスル屬ヨリ官吏ヲ借用スルトキハ其間ノ俸給ハ日割ヲ以テ借用屬ヨリ該官吏所屬ノ廳ヘ返付ストアリ右ハ通常經費ヲ以テ支辦スル則チ各省又ハ各府縣

廳等ノ間ニ借用スルモノハ正條ノ限ニアラスレテ通常經費ト作業費ノ如キヲ指稱セラレタルモノニ之アルヘキヤ
(大藏省)回答 明治十九年六月四日
高等官俸給支給細則第十四條中會計ヲ異ニスル屬トアルハ御見解ノ通

○内國旅費規則施行期限ノ件(遞信省)問合 明治十九年六月九日
閣令第十四號ヲ以テ内國旅費規則ヲ制定セラレタリシカ右施行ノ儀ハ勅令第一號公文式第十條ニ據リ官報到達日數後七日ヲ以テ其期限トナシ然ルヘキヤ
(大藏省)回答 明治十九年六月十日
問合ノ通

○内國旅費規則施行ノ件(福島縣)問合 明治十九年六月十日
府縣官制改定無キニ付閣令十四號旅費規則十九條ヲ除クノ外ハ收稅吏トモ從前ノ定則ニ據リ然ルヘキヤ
(大藏省)回答 明治十九年六月十一日
旅費規則ハ官吏一般之ニ據ル

○徵稅令書并歳入報告表記載方ノ件(山形縣)伺 明治十九年五月四日
歳入取扱ニ關スル徵稅令書第二號書式(第何期分ト)ニ依レハ一箇年前後ノ兩期ニ徵收スル營業稅ノ如キハ都テ第一期第二期(新規ニ採ル分ト)分ト記載スル儀ナルヤ果シテ然ラハ歳入報告表ノ如キモ同様(新規ト採ル分ト)記載スヘキヤ又徵稅令書(所屬曆年第何期)ヘ何月何日限ノ分ト納期ヲ記載スル儀ナラハ歳入報告表モ同様記載スヘキヤ
(大藏省)指令 明治十九年五月三十一日

徴稅令書ニ關スル件ハ一期二期隨時收入ノ三箇ニ區別スヘシ

○戸籍表中疑義ノ件(福井縣)照會 明治十九年六月一日

本年内務省令第三號戸籍表式改正御達中疑義ノ廉左ニ

一私生ノ子ヲ男子己ノ子ト認メ其手續ヲ經テ男子ノ籍ヘ編入シタル場合ニ於テハ戸籍表式第五表第六表中公生ノ欄内ヘ算入スヘキハ勿論ト被考候得共其儘婦女ノ籍ニ置キハ其婦女戸主ナレハ戸籍上稱呼ハ私生幾男女ト記スヘキモノニ付該表中私生ノ欄内ヘ算入スヘキヤ
一従前ノ戸籍表式中ニハ無籍在監人ノ欄有之候得共改正表式中ニハ無之右ハ何ノ欄内ヘ算入スヘキヤ

(内務省總務局)回答 明治十九年六月十日

第一項ハ男子己ノ子ト見留メ其籍ニ入レタル場合ト雖モ其子出生ノ當時ニ在テ公生ニ非サルヲ以テ私生欄内ニ算入スヘキ儀ニ有之第二項無籍在監人ハ當省令第七號警察及監獄報告表ニ於テ別ニ調査スルヲ以テ戸籍表ニハ之ヲ調査ヲ要セス

○行衛不分明ナル船舶除籍ノ件(東京府)伺 明治十九年六月二日

行衛不分明ナル船舶有之破船ト看認タル旨届出ルルハ直ニ船籍ヲ削除致シ又單ニ行衛不分明ト届出有之ルハ明治十六年大藏省第五十九號達但書ニ準シ滿三箇年經過シタル後除籍致來候處自今兩様共届出有之ルハ管内告示及府縣公報ノ手續ヲナシ該船出港後滿三箇年ヲ經過シ尙行衛不分明ナルルハ其船籍ヲ削除致シ可然哉

(遞信省)指令 明治十九年六月十四日

伺ノ趣破船ト看認タルモノハ直チニ其船籍ヲ除去シ其他伺ノ通

但船免狀ヲ有スル船舶ハ最後出船ノ日ヨリ一箇年ヲ經過シタルルハ其旨當省ヘ届出ヘシ

○海軍水兵志願者入營旅費等ノ件(愛知縣)上申 明治十九年六月四日

海軍水兵志願合格セシ者横須賀鎮守府ヘ客月一日縣地出發入營爲致候付テハ入營旅費及検査所諸費別表ノ適合金三拾六圓貳拾錢四厘御下渡相成度尤検査所ノ儀管内三箇所設置相成候處外二箇所ハ郡區役所所在地ニ付別段費途無之候處丹羽郡稻置村ノ儀ハ郡役所遠隔ニ付寺院ヲ借受検査所取設隨テ入費モ相増候儀ニ候條夫々至急御下渡有之度明細表相添此段上申候也(別表ハ)

(海軍省)指令 明治十九年六月十五日

書面ノ趣海軍志願兵検査費及入營旅費ノ儀ハ徵兵同様心得ヘシ

○徵發物件運搬ノ件(愛知縣)伺 明治十九年五月二十六日

町村ニ賦課セラレタル徵發物件ヲ臨時供給スルニ際シ荷積車之ナキ場合ニ於テハ其町村ノ便宜ニ依リ免稅車ヲ用ヒテ該物件ヲ差出シ場所ヘ運搬セシムルモ妨ケナキ儀ナルヤ

(大藏省)指令 明治十九年六月四日

伺ノ通

○印紙不捌ニヨリ交換ノ件(栃木縣)照會 明治十九年六月二十二日

稅表報告表調理順序ニ關スル報告表様式中改正諸印紙受備計算表備考第四項ニ受ノ部交換欄内ニハ賣捌人所持ノ分不捌ニ付同種類ノモノト交換返納シタルモノヲ記入云々ト之レアリ就テハ年度ハ勿論同種類ノモノナレハ其角長及ヒ價格ノ異ナルニ拘ハラヌ交換差許然ルヘキヤ又證券印紙ト手形用紙ト互ニ交換モ差許然ルヘキヤ

明治十九年六月 指令 海軍省 大藏省

(大藏省) 回答 明治十九年六月二十六日
本年六月省令第二十一號印紙類買下買捌規則施行以後ハ交換相成ラサル儘ト心得ラルヘシ

○爲換手形ノ件(愛知縣) 同 明治十九年六月十七日
明治十七年五月第十一號布告證券印稅規則第二類中約束爲換手形ハ金高五十圓未滿印稅登帳ト之アリ然ルニ十五年十月二十五號布告爲換手形約束手形條例第一章第四條ニ爲換手形ノ金額ハ五圓以上ニ限ル者ト之アリ然ラハ爲換金高五圓以下ナルモノハ發行相成ラサル儘ニ候ヤ又ハ印稅規則改正ニ據リ自然條例中五圓以上ニ限ルノ明文ハ消滅シ假令二三圓ノ爲換手形ト雖モ五十圓未滿ノ爲換手形用紙ヲ用ユル儘ト心得ラルヘキヤ
(大藏省) 指令 明治十九年六月二十五日
同ノ趣消滅セサル儘ト心得ヘシ

○在府縣獄囚徒費支辦方ノ件(靜岡縣) 同 明治十九年三月十二日
一 徒刑ノ宣告ヲ受ケタル者裁判確定ノ上假留監へ押送ノ後餘罪發覺ニ付原裁判所ヨリ呼戻シ候箇警察傳遞ヲ以テ押送途中費用ハ沿道警察費ヨリ支辦シ可然哉尤餘罪アルト雖モ原刑集治監ニ入ルヘキ囚徒ニ際ル費用ナルヲ以テ沿道國庫監獄費ヨリ支辦可致儀ニ有之候哉
一 甲地重罪裁判所ニ於テ徒刑ニ處セラレタル者アリ然ルニ餘罪有之ニ付裁判確定ノ上ハ乙地重罪裁判所へ可引渡旨甲地裁判所檢事ヨリ照會ニ依リ送付候ハ該囚ニ際ル費用ハ最前刑名宣告ノ日ヨリ乙地へ發遣ノ日迄甲地國庫監獄費ヨリ(日領金二十錢ツ)支辦シ而シテ押送途中費用ハ沿道警察費ヲ以テ支辦乙地へ到達ノ上ハ同日ヨリ該地國庫監獄費ヨリ支辦可致儀ト心得可然哉
一 徒刑ノ宣告ヲ受ケタル者裁判確定ノ上餘罪發覺シ爲メニ未決監へ移ル者アリ右ハ未決在監中ト雖モヨリ集治監ニ入ルヘキ囚徒ニ付該囚ニ際ル費用ハ日領金二十錢ツ、國庫監獄費ヨリ支辦シ可然哉
一 徒刑ノ宣告ヲ受ケタル者裁判不服ニテ本人上告ノ者在監中費用計算方ノ儀ハ裁判確定ノ上刑期ニ算入スヘキ日ヨリ國庫支辦ニ屬スルハ勿論ニ有之候得共右上告中會計年度へ涉リ候箇ハ前年度經費決算方如何取計可然哉
(内務省) 指令 明治十九年六月二十八日
第一項 前段同ノ通
第二項 第三項 同ノ通
第四項 年度決算ノ場合ニ於テハ地方稅監獄費ヲ以テ假拂ノ儘結算ヲ了シ他日裁判確定國庫支辦ニ歸スルハ該費ヨリ支出シ地方稅雜收入ニ編入スヘシ
但國庫出納閉鎖後既往年度ニ屬スル費額ノ仕拂ヲ要スル節ハ其金額事由ヲ詳悉シテ其時々伺出ヘシ

○獸醫開業試驗規則ノ件(埼玉縣) 明治十九年六月二十六日
 獸醫開業試驗規則第九條ニ試驗ニ落第シタル者ハ六箇月ヲ經ルニアラサルハ再ヒ試驗ヲ請フコトヲ得ストアリ右ハ第一期試驗ニ落第セシヨリ起算シ出願期月即チ當六月迄ハ未タ六箇月ヲ經過セサル儀ニ付面ヨリ試驗ヲ請フコトヲ得サル儀ニ候哉將タ假令出願期月ハ未タ六箇月ニ滿タサルモ試驗期月ニ至リ六箇月以上ニ涉ルトキハ出願不考候哉
 (農商務省)指令 明治十九年六月二十九日
 伺ノ趣前段見解ノ通

○舊稅追納科目ノ件(大阪府)照會 明治十九年六月二十一日
 本年五月御省訓令第十五號ヲ以テ歳入科目表中過年度收入ノ科目廢止相成候處稅目ノ廢止セラレタルモノヲ後年追徵スルトキハ十七年御省第五十七號達第三項舊稅追納ノ名義ヲ以テ項及ヒ目ヲ設ケ徵收スヘキ儀ニ候ヤ
 (大蔵省主計局)同答 明治十九年七月二日
 舊稅追納アルトキハ第一節歳入内國稅ノ款中統體免許稅ノ次ニ舊稅追納ノ項舊稅名目ヲ設ケ勘定整理シ其部度上相成ルヘシ

○内國旅費支給方ノ件(神奈川縣) 明治十九年六月二十五日
 一檢田測量其他巡視ノ旅行ハ規則第十條ニ據リ車馬賃ヲ給セサル儀ニ付里程ノ遠近ニ關セス日當額ニ三割ヲ増給スヘキヤ果シテ然ラハ測量等ノ爲メ日々一旦上陸ノ上陸下下巡迴スルモノ、如キモ亦同様支給スヘキ儀ナルヤ
 一規則第五條ニ據リ路程ヲ計算スルハ派テ其到着地里程基礎マテノ距離ニ據ルコト勿論ナレトモ横濱ヨリ東京ニ出張スルニ當リ汽車旅行ヲナスモノ、如キハ横濱新橋間ノ哩數ニ依リ汽車賃ヲ給スルノ外別ニ一市内旅行ニ係ル車馬賃ヲ給スルニ及ハサル儀ナルヤ或ハ右汽車賃ノ外東京市内奔走ノ里程ニ係ラハ棧棧里程元標ヨリ停車場迄及新橋停車場ヨリ日本橋元標迄ノ里程ヲ通算シ別ニ車馬賃ヲ支給スヘキ儀ナルヤ
 (大蔵省)指令 明治十九年七月一日
 伺ノ趣左ノ趣心得ヘシ
 第一項 規則第十條ノ日當ハ陸下下然ラサルトハ勿論ナリ尤其給否ハ第七條ノ制限ニ據ル儀ナリ
 第二項 里程ハ原標ヲ押ヘ計算スヘシト雖モ汽車汽船陸路旅行相跨ル時一市街ノ内ニテ下車上車或ハ上陸上船セシカ如キ場合ニ於テ原標ト停車場及ヒ波止場間ノ里數ハ算セサル儀ナリ

○已決囚留置ノ件(宮城縣) 明治十九年六月
 第一條 他縣監獄ニ在ル已決囚徒ノ事實參考人トシテ控訴院へ喚出シ審理中當縣監倉へ留置スヘキ旨評定官ヨリ照會ヲ受ケ候場合ハ監獄規則第十條ノ明文外ナルモ他ニ留置スヘキ箇所モ無之ヲ以テ右ノ照會ニ應シ可然哉
 第二條 前條ノ如ク照會ニ應シ可然哉ナレハ監獄中ニ係ル費用金額ハ他ノ裁判所ノ裁判ニ服セス控訴セシモノ、例ニ準シ一日金貳拾錢ヲ、裁判費用ヨリ請求致可然哉
 第三條 若シ裁判費用中ヨリ請求スルニ當リ負擔者ニシテ無資力ナルハ該囚留置スヘキ縣ノ監獄費ヨリ償却ヲ求メ可然哉
 (内務省)指令 明治十九年七月十日
 第一條 照會ニ應シ已決監ニ拘置スヘシ
 第二條 拘置中ノ費用ハ輕罪ニ付控訴ヲ爲シタル被告人ノ例ニ準シ送付シタル縣ヨリ受取ヘシ
 第三條 第二條指令ニテ了解スヘシ

○酒保販賣ノ物品課稅ノ件(千葉縣) 明治十九年七月六日
 東京鎮警佐倉警所及ヒ國府警署等ニ於テ酒保請負人ヲ選定シ酒類其他刻煙菓菓子小間物等ニ至ル迄管内ニ於テ販賣セシメ且行軍ノ節ハ之レヲ隨ヘ兵士ノ需用ニ應セシムルノ命令ヲ爲シタル趣然ルニ其請負人ニ於テハ陸軍ノ命令ナルヲ以テ各種稅則ノ範圍外ト心得營業免許ヲ得サルモノ之レアルヤノ由ニ付收稅吏ヲシテ管所及教導團へ問合セシニ右ハ陸軍歩兵内務署中酒保ヲ監クノ條項ニ基キ適宜人選シテ販賣ヲ命シ尤モ日當ヲ給スルニ非ラス其仕入代價ヨリ幾分ノ利潤ヲ得セシムル方法ナル趣就テハ該用達即チ請負人ノ如キハ一已ノ營業ヲナスモノニ付國稅アルモノノ地方稅アルモノハ之ヲ賦課スヘキハ勿論ニ之レアルヘク果シテ然ラハ該管所及教導團へ照會ノ上隨時検査員ヲ派遣シ管内ノ販賣場ニ就キ物品ヲ検査セシメ差支ナキヤ右ハ獨リ本縣下ノミナラス各鎮警及兵營ニ於テモ同様ノ設ケアルモノト想像致ス依テ取扱方一應相同フ
 (大蔵省)指令 明治十九年七月十四日
 伺ノ趣酒保ニ於テ販賣スル物品ノ請負ヒラ爲ス者ハ其居宅ニ就キ業體相當ノ鑑札下付スヘキ儀ト心得フヘシ
 但管内ニ立入り検査ヲ爲スヲ要セス

○徴兵取扱上ノ件(茨城縣) 明治十九年七月六日
 徴兵相當ノ時縣立學校ニ於テ一箇年以上ノ課程ヲ卒リタル生徒ノ故ヲ以テ令第十九條ニ據リ猶豫ニ屬シタルモノ及ヒ未タ滿年ナラ
 明治十九年七月 指令 内務省 陸軍省

サルモ同上ノ生徒ニシテ猶豫ニ屬スヘキ資格ヲ有スル者ノ如キ今般支那省令ニ據リ該校ノ教則ヲ改正シ更ニ一箇年期ノ課程ニ編入セシムルハ全ク舊教則ト新教則ト學科程度ノ高低ヨリ生スルモノニシテ右ハ舊教則ニ於テ既ニ一箇年以上ノ學科ヲ修メタルモノニ相違ナク畢竟其資格ノ變更ハ教則ノ改正即チ官ノ都合ニ基因スルモノナレハ前者ハ條例第百三十條前段ニ據ラス猶豫ノ儘留置キ後者ハ舊教則ニ依リ尙一箇年以上ノ課程ヲ卒ラサルモノ今第十九條ニ準シ徵集ヲ猶豫シ然ルヘキヤ

(陸軍省) 指令 明治十九年七月二十四日

書面前者ハ伺ノ通後者ハ新教則ニ依リ一箇年以上ノ課程ヲ卒リタル者ニアラサレハ猶豫ニ屬セス

○内國旅費支給方ノ件(石川縣) 明治十九年七月十三日

一規則第十條ニ現場巡視スルトキハ車馬賃ヲ給セス日當額ニ三割ヲ附給スヘシトアリ然レハ里程六里未滿ノ巡視ト雖モ本條ニ據リ支給スヘキモノニシテ第七條ニ比準スヘキ限リニ之レナキヤ

一諸檢査委員ニシテ現場巡視スルトキ甲地ヨリ乙地ヘ移ル里程數里ニ亘ルモ其日ハ現場巡視ナルヲ以テ車馬賃ヲ給セス日當額ニ三割ヲ附シ支給スヘキヤ

一諸檢査委員ニシテ派出所所在地ノ市街ヲ檢査スルモノモ現場巡視ノ例ニヨリ日當額ヲ支給スヘキヤ果シテ然ラハ應下ラ巡視スルモノ、如キモ同上支給シ然ルヘキヤ

(大藏省) 指令 明治十九年七月二十三日

伺ノ趣左ノ通心得ヘシ

第一項 規則第十條ノ日當八里程六里未滿ノ旅行ニハ之ヲ支給セス本廳出張所等ノ所在地ヨリ往返一里以上ノ地ニ至ルモノハ車馬賃ノミヲ給スルヲ得

但六里未滿ト雖モ宿泊ノトキハ日當額ヲ給ス

第二項 現場ヲ巡視スルモノニ規則第十條ニ據リ三割附日當額ヲ給スルニ當リ數箇ノ現場ヲ巡視スルトキハ甲現場ヨリ乙現場ニ至ル間八里程ニ應シ車馬賃ヲ支給スルヲ得且其當日日當額ノ如キハ三割附日當額ヲ給スルト否トハ適宜タルモノトス

第三項 前二項ノ精神ニヨリ支給方取計フヘシ

○警部以下内國旅費額ノ件(岡山縣) 伺 明治十九年七月五日

省令第十一號ヲ以テ警察官吏司獄官吏神官及等外吏職員其他内國旅費規則制定相成候處警部警部補巡査等持區内出張ノ旅費額制定

無之右ハ或ル御用向ニテ一箇所又ハ二箇所ヘ一時出張スルモノト雖モ均シク巡迴ト見做シ第二條及第四條ニ依リ支給スル儀ト相心得可然乎

(内務省) 指令 明治十九年七月二十八日

伺ノ趣持區内ノ旅行ハ派テ區内日當額ヲ支給スル儀ト心得候事

○諸記名公債元利賦金支拂方取扱順序ノ件(滋賀縣) 伺 明治十九年七月十六日

第一 來ル十月三十一日以前ニ係ル未渡ノ元利賦金請求スルモノアルトキハ順序第三條ニ據リ取扱而シテ貸付ヘハ報告ニ及ハサル

第二 右元利賦金ハ日本銀行本店及取扱店ヘ報告ノ上ハ直ニ支拂相成ルヘキヤ又ハ後日取扱店ヨリ請求者ヘ仕拂期日ヲ報告スルヤ

債主ヘ指示スヘキニ付豫テ致承知度

第三 來ル十一月一日以後ニ係ル未渡ノ元利賦金事故解融ノ上ハ兼テ債主ノ指定セル取扱店ヘ直ニ請求セシムヘキヤ

第四 以往相當年度後ノ未拂元利賦金ハ日本銀行ヨリ證券所管ノ廳ヘ報告シ爾後支拂ノ部度之ヲ亦報告スルヤ然ラサレハ客歲三貴省第八號本年一貴省第二號御達ニ據リ五箇年經過後ノ御届スヘキコト能ハス若シ或ハ同店ヨリ御届ニ及ヒ候ニ付右兩度ノ御達ハ來ル十一月以後相當ノ元利賦金ニ關シテハ適用セサル儀ト心得然ルヘキヤ

但後段ノ如クナレハ新舊公債證券發行條例第五條第五節認可ノ都度該取扱店ヘ報告スヘキヤ

第五 前項所管廳ヘ報告ナキモノナレハ證券亡失ニ方リ届出ノ際利賦金拂濟未済ノ區分本人ノミノ申立ニテ證明スルモノナシ是ノ場合ニハ該證書ニ對シ取扱店ノ保證ヲ要セシメ而シテ受理處分致スヘキヤ

第六 利賦札ヲ亡失シタル旨届出タルトキモ前項ノ通り保證ヲ要セシメ受理ノ上ハ之ヲ取扱店ヘ報告シ貴省ヘ御届ニハ及ハス候ヤ爾後七箇月經過發見セサルニ由リ該金拂渡方ハ總テ同店ヘ放任シ其後發見シタル利賦札ハ同店ヘ同付スヘキヤ

第七 元利賦金未拂ノモノ轉居又ハ都合ニ寄リ甲乙取扱店ヲ變換スルトキ債主ハ乙店ヘ順序第四條ニ據リ手續ヲ爲スモ甲店ヘ報告スルノ責任ナキモノニ付之ノ場合ニハ所管廳ヨリ日本銀行本店ヘ増減報告シ而シテ甲店ヘ減額ヲ乙店ヘ更ニ書式ニ準シ増額ノ報告ヲナスヘキヤ

但他管ヘ轉出セルトキモ本條ニ準ヒ減額ヲ報告シ且ツ轉入ノ管廳ヘモ通知スヘキヤ

第八 新舊公債證券發行條例第六條第四節ノ但書アリト雖モ追加増額スルトキハ其都度順序書式ノ通り報告スヘキヤ

第九 公債證書利賦札等又ハ所有者身分ニ關シ訴訟或ハ故障中ノ趣ヲ以テ元利賦金ノ渡方停止ヲ請願スルモノアルトキ日本銀行並代理店ニテ之ヲ許容スレハ必ス紛糾ノ絶ヘサランヲ豫想セリ因テ是ノ請願ハ所管廳ノ指令ヲ得テ願人之ヲ取扱店ニ證明シ以テ其停止ヲ要請セシメ解停ノトキモ亦同シク致サセ然ルヘキヤ

(大藏省)指令 明治十九年七月二十九日

同ノ趣左ノ通り相心得ヘシ

第一項 第三項 第七項 第八項 第九項 同ノ通り

第二項 後段同ノ通り

第四項 未拂ノ元利賦金ニシテ其拂渡スヘキ年ノ翌年ヨリ五箇年ヲ經過スルモノハ日本銀行ヨリ其縣(報告スヘキニヨリ)客歲月三營第第八號及ヒ本年一營第第二號達ニ據リ取扱候儀ト心得ヘシ

但本文ノ報告中豫テ難受取事由ヲ認可シタル分有之トキハ其旨同銀行へ報告スヘシ

第五項 第四項前段ノ報告ナキモノハ同ノ通り

第六項 前段ハ同ノ通り後段七箇月經過後見セザルトキハ其旨取扱店へ報告シ拂渡方取扱ハシムヘシ

但利賦金拂渡後發見シタル利賦札ハ常省へ還納スヘシ

○官用俸給支給日割ノ件(靜岡縣)伺 明治十九年七月二十九日

御省令第十二號高等官俸給支給細則及ヒ第二十號判任官俸給支給細則ノ中地方廳官吏俸給支給ノ日割明文無之右ハ高等官及判任官并雇員トモ俸給支給ノ日割如何相心得然ルヘキヤ

(大藏省)指令 明治十九年八月三日

伺ノ趣經所管ノ廳ト同日ニ支給スル儀ト心得ヘシ

但雇員俸給支給日ハ適宜指定スヘシ

○徵兵取扱上ノ件(茨城縣)伺 明治十九年八月一日

第一條 徵兵令第二十一條ニ當リ猶豫ニ屬シタルモノヲ常備七箇年間ニ在テ非難ヲ命セラレタル時ハ條例第百三十條前段ニ準シ徵集可然哉

第二條 壯丁ノ内他府縣下へ旅行中疾病ニ罹リ検査所ニ出頭スルコト能ハス事務條例第四十條ニ據リ届出タル時ハ該府縣へ検査人別兩表ヲ送付シ検査ヲ爲受又他府縣ノ壯丁ニシテ當縣下へ旅行中前同様ノ場合ニ處シ検査人別兩表ヲ添へ検査ノ儀照會有之候節ハ本人ヲ便宜ノ検査所へ召喚検査シ右兩表ヲ該府縣へ返却ノ順序ニ取計不苦哉

(陸軍省)指令 明治十九年八月六日

書面兩條共伺ノ通り

○當縣公債證書ノ件(群馬縣)伺 明治十九年八月六日

記名當縣公債證書ハ從來元金ト交換實際還納ノ月ヲ以所轄高ラ減額致來リ候處本年十一月一日以後元利賦金拂渡方ハ日本銀行又ハ代理店ニ於テ取扱候儀ニ付當縣證書ハ其當縣ノ月ヲ以テ所轄高ラ減額スル儀ト相心得然ルヘキヤ

(大藏省)指令 明治十九年八月十四日

伺ノ趣本年七月三十一日官報へ掲載還納額ヨリ營第第三十號訓令ニ關スル同第四項ニ對シ伺令ノ趣ニ據リ日本銀行ヨリ未拂ノ報告ヲ得サルモノハ所轄高ノ減少ニ立ル儀ト相心得ヘキ事

○菓子營業者營業ノ簡便札書換ノ件(靜岡縣)問合 明治十九年八月九日

菓子營業者ノ内營業ノ都合ニ因リ露店呼賣專業ヨリ普通營業ニ又ハ普通營業ヨリ露店呼賣ニ轉業スルモノ、簡札ハ露店呼賣ノ廉加除訂正主任者檢印ノ上下與シ苦カラスヤ又ハ新簡札書換下與スヘキヤ御明示相成度

第九 公債證書利賦札等又ハ所有者身分ニ關シ訴訟或ハ故障中ノ懸ヲ以テ元利賦金ノ渡方停止ヲ請願スルモノアルトキ日本銀行並代理店ニテ之ヲ許否スレハ必ス紛訟ノ絶ヘサランコトヲ豫想セリ因テ是ノ請願ハ所管廳ノ指令ヲ得テ願人之ヲ取扱店ニ證明シ以テ其停止ヲ要請セシメ解停ノトキモ亦同シク致サセ然ルヘキヤ

(大藏省)指令 明治十九年七月二十九日
同ノ趣左ノ通り相心得ヘシ

第一項 第三項 第七項 第八項 第九項 同ノ通り

第二項 後段同ノ通り

第四項 未拂ノ元利賦金ニシテ其拂渡スヘキ年ノ翌年ヨリ五箇年ヲ經過スルモノハ日本銀行ヨリ其縣(報告スヘキニヨリ)客員三
第算書第八號及日本年算書第二號送ニ據リ取扱候儀ト心得ヘシ

但本文ノ報告中豫テ難受取事由ヲ認可シタル分有之トキハ其旨同銀行へ報告スヘシ

第五項 第四項前段ノ報告ナキモノハ同ノ通り

第六項 前段ハ同ノ通り後段七箇月經過發見セサルトキハ其旨取扱店へ報告シ拂渡方取扱ハシムヘシ

但利賦金拂渡後發見シタル利賦札ハ當省へ還納スヘシ

○官吏俸給支給日割ノ件(靜岡縣)同 明治十九年七月二十九日

御省令第十二號高等官俸給支給細則及日第二十號判任官俸給支給細則ノ中地方廳官吏俸給支給ノ日割明文無之右ハ高等官及判任官并雇員トモ俸給支給ノ日割如何相心得然ルヘキヤ

(大藏省)指令 明治十九年八月三日
同ノ趣經費所管ノ廳ト同日ニ支給スル儀ト心得ヘシ

但雇員俸給支給日ハ適宜指定スヘシ

○徴兵取扱上ノ件(茨城縣)同 明治十九年八月一日

第一條 徴兵令第二十一條ニ當リ猶豫ニ屬シタルモノノ當備七箇年間ニ在テ非難ヲ命セラレタル時ハ後例第三百三十條前段ニ準シ徵集可然哉

第二條 壯丁ノ内他府縣下へ旅行中疾病ニ罹リ検査所ニ出頭スル丁能ハス事務條例第四十條ニ據リ届出タル時ハ該府縣へ検査入別兩表ヲ送付シ検査ヲ爲受又他府縣ノ壯丁ニシテ當縣下へ旅行中前同様ノ場合ニ處シ検査入別兩表ヲ添へ検査ノ儀照會有之候節ハ本人ヲ便宜ノ検査所へ召喚検査シ右兩表ヲ該府縣へ返却ノ順序ニ取計不苦哉

(陸軍省)指令 明治十九年八月六日
書面兩條共同ノ通

○當廳公債證書ノ件(群馬縣)同 明治十九年八月六日

記名當廳公債證書ハ從來元金ト交換實際還納ノ月ヲ以所轄高ヲ減額致來リ候處本年十一月一日以後元利賦金拂渡方ハ日本銀行又ハ代理店ニ於テ取扱候儀ニ付當廳證書ハ其當額ノ月ヲ以テ所轄高ヲ減額スル儀ト相心得然ルヘキヤ

(大藏省)指令 明治十九年八月十四日

同ノ趣本年七月三十一日官報へ掲載滋賀縣ヨリ當省第三十號訓令ニ關スル同第四項ニ對シ同令ノ趣ニ據リ日本銀行ヨリ未拂ノ報告ヲ得サルモノハ所轄高ノ減少ニ立ル儀ト相心得ヘキ事

○菓子營業者種業ノ簡札書換ノ件(靜岡縣)同令 明治十九年八月九日
菓子營業者ノ内營業ノ都合ニ因リ露店呼賣事業ヨリ普通營業ニ又ハ普通營業ヨリ露店呼賣ニ轉業スルモノ、簡札ハ露店呼賣ノ賑加除訂正主任者檢印ノ上下與シ苦カラヌヤ又ハ新簡札書換下與スヘキヤ仰明示相成度

明治十九年八月 指令 大藏省 陸軍省

(大蔵省) 回答 明治十九年八月十八日

御開合菓子營業者轉業ノ簡章札書換ノ儀ハ後段仰見込ノ通

○損傷印紙交換セシモノ處分ノ件(千葉縣)照會 明治十九年八月十六日

本年御省令第二十一號印紙類費下濺規則第十六條ニ損傷汚染ノ印紙ハ拾錢以上取纏メタルモノニ限り交換セシムヘシト之アリ然

ルニ訓令第三十二號同則取扱手續中ニ其交換セシ印紙ノ處分ヲ示サレサルモ即從前ノ撮合ニ依ヒ每半箇年分取纏メ主務局へ送付

スヘキモノヤ

(大蔵省) 回答 明治十九年八月二十日

交換ニ係ル損傷汚染印紙處分ノ儀御意見ノ通

○國債發決算證明方ノ件(神奈川縣)照會 明治十九年八月十二日

十九年度以降破入取出取扱順序施行相成候得共國債發ノ儀ハ從前ノ通御省ニ於テ決算證明ノ儀御取扱相成候設

(大蔵省) 回答 明治十九年八月二十一日

本年四月一日以降支出ニ係ル該發決算證明方ノ儀ハ御縣ニ於テ御取扱相成ヘキ候ナリ

追テ十八年度相當ノモノニシテ本年四月一日以降國庫ヨリ直チニ交付相成候分モ本文同様ノ事

○酒造稅則附則中疑義ノ件(山形縣) 明治十九年八月十三日

勅令第六拾號改正酒造稅則附則中疑義ノ條左ニ相伺フ

一規則第四條ニ飲食店トアルハ料理屋膳屋蕎麥屋鳥肉獸肉魚介割烹屋天麩羅屋其他水茶屋等ノ如キ來客ノ需メニ應シ酒肴ヲ出スモ

ノハ名稱ノ如何ニ拘ハラズ酒ヲ含著シタル儀ナリヤ

一同條旅館屋トアルハ下宿屋船宿等モ含著シタル儀ナリヤ

(大蔵省) 指令 明治十九年八月二十四日

但第二條下宿屋船宿等ニシテ單ニ其客室ヲ貸シ又ハ乗船ノ取扱ノミヲ業トスルモノハ此限ニアラス

○地券記入方ノ件(山形縣) 明治十九年八月十二日

一荒地ノ券狀ハ單ニ荒地何程ト記帳シ元地目ヲ記入セサル雛形ニ付全額ノ荒地或ハ券面ニテ元地目視ル能ハス故ニ取扱上不便ヲ極

候ニ付爾後地券書替ノ都度地番號ノ下へ元地目朱記シテ書シカラスヤ

一免租地ハ地租條例第四條ノ地目ニヨリ地券相取ノ候ニ付テハ郷村社地(郷社村社)墳墓地(葬地)火葬場(葬水路)湯澤(湯澤水路)下水路)ノ如キ地番號ノ下へ(現地ノ名稱ヲ朱記シ然ルヘキヤ

(大蔵省) 指令 明治十九年八月二十日

書面ノ權總テ意見ノ通取計若シカラス

○農林學校生徒徵兵ノ件(山口縣) 明治十九年八月六日(電報)

農林學校生徒ハ令十八條三項ニ包含スルヤ

(陸軍省) 指令 明治十九年八月二十五日

農林學校生徒ハ學生ニ非サレハ令十八條三項ニ包含セス

○官有地諸收入金徴收方ノ件(東京府)同 明治十九年八月二十四日

本年農商務省訓令第十三號ヲ以テ官有地諸收入金徴收規程御改定明治十九年度ヨリ施行スヘキ旨御訓令相成候ニ付テハ昨十八年九月第三十九號御達第三條ニ據リ人民ノ都合ヲ以テ返地セシモノ其返地留月ノ地料ヲ徴收セサリシ分額多有之候所今般ノ改定規程ニ據リ夫々湖リテ徴收セサルヲ得ス然ルニ右等ハ舊規程施行中其規程ニヨリ處分ヲ了セシモノニテ今更新規程ニヨリ追徴候ハ頗ル不穩當ナル感ナキ能ハス又已ニ處分済ノモノ多人數ノ内ニハ目今踪跡不分明ノ者モ可有之實際處分困難ニ有之旁改定規程ノ般ハ管下へ告達ノ時ヨリ施行候様致度

追テ府下河岸地地料ノ般ハ昨十八年十月六日付ヲ以テ内務省へ相伺候通從前ノ如ク月々收入取計度

伺ノ遊

(内務農商務兩省)指令 明治十九年九月十三日

○諸記名公債元利庫金支拂方取扱順序ノ件(法令全書) 第七號(滋賀縣)同大蔵省指令追加 明治十九年九月二十四日
本年七月二十九日付第四七〇八號ヲ以テ指令候訓令第三十號ニ關スル伺指令中第七項第八項へ左ノ但書ヲ追加ス
但日本銀行本店へノ報告ヲ要セス

○徴兵ノ件(福岡縣)同 明治十九年九月十四日

徴兵令第十八條第四項海軍工夫中ニ裁縫夫造船夫ハ含有セサル旨客年十月二十八日福井縣へ御指令ノ趣ニ付テハ同項ノ工夫ト指稱スルモノハ海軍志願兵徴發規則ニ據リ採用相成タル者ニシテ右兩夫ヲ除ク外即水兵火夫木工鍛工看護夫厨夫等ニ可有之哉又海軍造船所等へ臨時年期定雇ノ者ハ右工夫同様ノ職工ニ從事スト雖モ同項ノ範圍外ト相心得可然哉

(海軍省)指令 明治十九年九月二十四日

伺ノ趣海軍工夫トハ明治十六年勅諭省乙第九號海軍工夫規則ニ依リ造船所製造所ニ使役スル者ヲ指稱スル儀ト心得ヘシ

明治十九年九月 指令 内務省 大蔵省 海軍省

○外國船隻救護費交付ノ件(北海道廳)上申 明治十九年九月二十日

管下千島國後沖合ニ於テ本年八月中央國船「ダコタ」船難破ニ係リ候節右救護費既ニ總督仕掛候分金貳百三拾六圓七拾八錢六厘別紙仕書ノ通り御交付相成度(別紙仕書)(大藏省)指令 明治十九年十月二日

上申ノ度本年度其國船難破船及海員救護費ヨリ支拂スル額ト可心得事

但去十六年一月當番外違ハ本年四月三日十九年度歳出科目決定達ニヨリ自然消滅ノ額ト心得(シ)

○印紙發効總額許否ノ件(東京府)伺 明治十九年十月十八日

印紙發効下費例規則第六條三項ニ懸シ非思與者ニ印紙發効ヲ許可セシニ本人發効期限內ニ於テ死亡シ跡相續人ニ於テ其遺骸營業ノ總額方出願スル者アリ右ハ同則第十七條ノ手續ヲ要セス最前許可セシ殘餘ノ期限ヲ以テ發効繼續セシメ苦シカラスヤ

(大藏省)指令 明治十九年十月二十日

伺ノ邊

但規則第九條ニ懸シ標札ノ訂正ヲ爲サシムヘシ

○學事年報取調方ノ件(神奈川縣)問合 明治十九年十月二十九日

今般學事年報請表用紙御配付相成候處右ノ内小學校ノ種別等本縣ニ於テハ豫テ經伺濟ノ上來學期ヨリ實施ノ儀ニ付テハ本年未開查ノ儀ハ現ニ各學校規定ノ學期ニヨリ八箇年學期ノ小學校ハ高等科ニ七箇年以下三箇年以上ノ學期ノ小學校ハ尋常科ニ擬當ノ上夫々記入シ可然哉
分枝モ學校數ニ算入スヘキ儀ニ候哉果シテ然ラハ分枝ノ如キ何レモ本校ト聯絡ヲ通シ一二箇年學期乃至六箇年學期ヲ教授スルモノニシテ其一二箇年ニ止ルモノモ別ニ簡易ノ教授ヲ爲スモノニ非サレハ是亦尋常科ニ擬當シ可然哉又ハ分枝ハ學校數ニ算入セサル儀ニモ可有之哉

(文部省總務局)回答 明治十九年十一月十日
學事年報取調方ノ儀前段御意見ノ通後段分枝ノ儀三箇年以上ノ學期ヲ設ケ一學校ノ體面ヲ具有スルモノハ尋常科ニ擬當シテ學校數ニ算入シ同シク分枝ト稱スルモ其實分枝場ノ如キモノハ本校ヘ合算可然

○職入出豫算條規第八條ノ件(北海道廳)照會 明治十九年十月二十八日

一職入出豫算條規第八條ニ依リ増減ヲ報告シタルトキハ總簿及納稅簿否分類簿ニ記載スヘキハ勿論ノ處其月ノミニ止マルモノハ分類簿中該當月ノ口座ヘ記載シ其月以降各月ニ涉ルモノハ適宜區分記載シ該簿總額ニ對スル月額豫算ハ報告ニ及ハサル儀ナルヤ一十八年御省第四十四號邊及豫算増減報告書式ニ據レハ圓位ニ止ムヘキ旨ナレトモ帳簿上決算ノ際ニ至リ借貸ノ平均ヲ得サル場合ニ於テ如何取計然ルヘキヤ

(大藏省)回答 明治十九年十一月九日
一項ハ見込ノ通り二項ハ圓位マテ記載シテ報告アルヘシ

○日本藥局方ノ件(和歌山縣)伺 明治十九年十一月四日

御省令第十號日本藥局方ハ來ル二十年七月一日ヨリ御施行可相成候付テハ右期限後外國局方藥品ハ販賣不相成儀ニ候哉果シテ然ラハ藥品ノ處分方ハ如何取計シ可然哉
(内務省)指令 明治十九年十一月十一日
審面伺ノ趣其性狀品質日本藥局方ノ所定ニ適合スルモノハ勿論然ラサルモ外國藥局方藥品ノ需用者ニ其需用藥品ヲ販賣スルハ差聞無之儀ト可心得事

明治十九年十一月 指令 文部省 大藏省 内務省

○隨官者一時賜金支給方ノ件(福島縣) 明治十九年十月二十八日
先般官制ノ御改定ニ依リ隨官者ノ内出仕ニ及ハサル旨ヲ達シ數日ナラスシテ任官ノモノハ一旦出仕ニ及ハサル旨ヲ達シタル際ニ於テ打切一時賜金ヲ支給ス(キ儀トハ存候得共或ハ任官迄ノ日數ニ依リ給スルト否トノ分界モ之アルヘキヤ
(大藏省)指令 明治十九年十一月十日

○在官中死亡恩給下賜ノ件(沖繩縣) 明治十九年十月十三日
去ル明治十七年一月四日太政官第一號御達ノ官吏恩給令第三十條ニ「官更在官中死去ノ者ハ現俸給三箇月分ヲ給ス」トアリ亦本年四月二十九日勅令第三十六號判任官俸給令第七條ニ「官ニ在リテ死亡シタル者ハ月俸三箇月分ヲ其遺族ニ給ス」トアリテ今日尙兩令共存セル以上ハ各別ニ支給シテ然ルヘキヤ
(大藏省)指令 明治十九年十一月八日

○小學校員學力檢定試驗費用收支ノ件(栃木縣) 明治十九年十月十一日
小學校員學力檢定試驗ニ關スル費用ハ地方稅教育費ヨリ支辨シ試驗並ニ免許狀手数料ハ同シテ雜收入ヘ受入レ然ル可キヤ
(内務省大藏省文部省)指令 明治十九年十月二十八日
小學校員學力檢定試驗ニ關スル費用ハ應費ヨリ支辨シ其手数料ハ大藏省訓令第四十一號ニ由リ處理スヘシ
○般理公債取扱方ノ件(滋賀縣) 明治十九年十一月九日
今般理令第三十號整理公債取扱順序第九條ニ據リ從前發行記名公債證書ヲ以テ應募シタルモノ該證書ヲ日本銀行ヘ拂込ニ方リ記名欄内記署名及檢印等ノ手續ニハ及ハサルヤ然レハ所管廳債主簿削除ノ儀ハ最後滿額拂込ノ上日本銀行又ハ國債局ノ通知ニ由リ取計フヘキヤ
(大藏省)指令 明治十九年十一月十八日
同ノ條引換濟ノ證書ハ其種類並記名簿等告示スルニ付右告示ニ拘束セル所管證書ハ債主簿ヨリ削除スヘキ儀ト心得ヘシ
但高等官俸給令ニ據リ支給ノモノモ本文ニ準ス

○蠶種檢査規則ノ件(富山縣) 明治十九年十一月五日
去八月十七日付省令第九號蠶種檢査規則第八條ニ「蠶種ニハ云々原種ト製種用種トニ區別シテ檢査所ニ差出スヘシ又第十條ニ「原種印アル蠶種ハ販賣又ハ飼育スルコトヲ得ストアリ故ニ原種ハ原種檢査手續ニ據リ檢査シ不合格ノモノニハ廢棄ノ證印ヲ捺捺スヘキ儀ニ候ヘハ原種トシテ販賣又ハ飼養スルコトヲ得サルハ勿論ナレド右様原種ニ不合格ノモノナルモ更ニ製種用種ノ檢査ヲ受ケ合格ノモノハ製種用種檢査證印ヲ捺捺スルモ實際販賣差支無之儀ト思案候就テハ原種ニシテ不合格ノモノモ受檢者ノ志願ニヨリ更ニ製種用種ノ檢査ヲナスハ差支無之儀
(農務省)指令 明治十九年十一月十八日
同ノ通

○年長者ヲ相續人ト爲スノ件(山形縣) 明治十九年十一月二日
玆ニ單身戶主(丁年以上ノモノ)ニシテ衰弱衰弱又ハ病身等ニテ家業經營致困ニ迫ル事情ヲ以テ強壯ノ年長者ヲ相續人ニ賞請共ニ家業ヲ維持致シ度趣ヲ以テ親族協議出願ノ者有之右ハ自然不倫ノ弊習ヲ生セシムル儀ニ可立至存セラレ候ニ付聽許スヘカラサル儀ト相心得可然說又ハ親族協議出願ノ時ハ其事實爲ト取調相違無之ニ於テハ聽許可然說
(司法省)指令 明治十九年十一月二十四日
同ノ趣ハ前段見解ノ通

○判任官等ノ件(熊本縣) 明治十九年十月二十日

第一條 判任官官等係給令第四條ニ判任官五等以上ハ每等在職四年六等以下ハ每等在職三年ヲ滿ニルニアラサレハ昇等スルヲ得
ストアリ右ハ屬判任四等ノ者警部ニ轉シ判任三等ニ敍シタル者ノ類其給同シケレハ進テ昇等ノ節ハ前後進軍可然哉

第二條 從來郡區書記十等相當月俸二ノモノ屬ニ判任七等ニ敍セラレタルモノハ右屬ニ轉シタル日ヨリ起算可然哉

(内務省) 指令 明治十九年十一月十九日

第一條 屬ヨリ警部ニ轉スルノ際ト雖モ其官等ヲ昇進セシムルモノハ判任官等係給令第四條ノ年限ニ據ルヘシ
第二條 前任官ノ日ヨリ起算スヘシ

○廢官者ニ對スル賜金支給方ノ件(栃木縣) 照會 明治十九年十一月十八日

廢官者一時賜金支給方ノ儀ニ付キ福島縣ヨリ御省ヘノ伺ニ對スル御指令ニ廢官後更ニ再任セシメタルモノハ其日數ヲ問ハス廢官當
時ニ於テ打切支給スル儀ト心得ヘシト之アリ右ハ廢官者ノ出仕ニ及ハサル旨ヲ達シタルモノニ限り一旦打切一時賜金給與相成ル
儀ニシテ廢官ト雖モ引續キ任官ノモノハ前職御指令ノ限ニ之ヲ勤續相成ル儀ニ候ヤ

(大藏省) 回答 明治十九年十二月二十九日

御問合ノ趣御見解ノ通

○印紙代金未納ノ者出訴期限ノ件(和歌山縣) 伺 明治十九年十月二十二日

十五年第二十七號布達印紙類發劄手續第四條ノ期限ヲ過キ印紙代金納出アサル者ハ十六年三月甲第六十號伺ニ對シ同年四月十
二千五百十號御指令ニ基キ處理スヘキノ處右邊判所ニ申告スルハ六年十一月第三百六十二號布告出訴期限ニ關セサル儀ト相心得然
ルヘキヤ

(大藏省) 指令 明治十九年十一月二十九日

伺ノ通

○非職官吏職權許否ノ件(山形縣) 伺 明治十九年十一月十五日

非職官吏ニシテ鳥獸職權免狀顯出ル者アルトキハ該免狀ヲ下付シ可然哉

(農商務省) 指令 明治十九年十二月一日

伺ノ趣非職官吏ニ職權免狀ヲ付與スルハ其本屬長官ニ於テ職權ヲ許可シタルモノニ限ル儀ト心得ヘシ

明治十九年十二月 指令 内務省 大藏省 農商務省

○禁煙禁止ノ件(千葉縣) 明治十九年十一月九日
竊ハ稻田ノ害蟲ヲ捕殺シ農業上有効ノ鳥類ナルモ該鳥獵者大ニ増加シ爲ニ一年ニ減耗シ隨テ害蟲蔓延ノ勢アルノミカラス捕獲ニ際シ畦畔ヲ踏破シ農業上妨害少ナカラサル趣ヲ以テ管下上總國長内郡下ノ鄉村外五箇村勸業會ノ意見トシテ該鳥獵禁止ノ儀申出候右ハ農業上妨害アリト認ムル場合ニ於テハ適宜該鳥獵禁止致可然哉
(農務省)指令 明治十九年十一月三十日

同ノ通

○後備軍艦員職權許否ノ件(鹿兒島縣) 明治十九年十一月二十七日
陸軍歩兵曹長ニシテ目下後備軍艦員中ノ者職權出願セリ差許可然哉
(農務省)指令 明治十九年十二月九日

○農務省指令 明治十九年十二月九日

○學事統計表中卒業生取調方ノ件(宮崎縣) 明治十九年十二月七日
學事統計表小學校ノ畢業生徒トハ某科ヲ卒ヘタルモノニシテ其年中ニ退學シタルモノヲ指シタル儀ナルヤ又退學ト否トヲ問ハス其年中ニ某科ヲ卒業シタルモノヲ指シタル儀ナルヤ
(文部省總務局)回答 明治十九年十二月九日

○文部省總務局回答 明治十九年十二月九日

小學校卒業生ノ件ハ後檢御意見ノ通

○姦女ノ件(德島縣) 明治十九年十二月三日

妻ノ實家ノ妹ヲ姦女トナスハ聞届不苦儀ト相考候處其姦ニ對シテハ姦母ト稱スヘキヤ將タ姉妹ヲ稱呼ヲ存スヘキ儀ニ候哉
(司法省)指令 明治十九年十二月十五日

同ノ趣ハ前段見解ノ通

○私生兒送籍ノ件(山梨縣) 明治十九年十一月二十六日
嫡子女ナク私生ノ子女ノミヲ有スル女貞主夫ヲ迎ヘ其夫ヘ家名ヲ讓リタル後ト雖モ嫡子女ヲ讓ケサル間ハ妻ノ私生兒繼承權ヲ有スヘクニ付他ヘ送籍候儀ハ不相成候哉
(内務司法兩省)指令 明治十九年十二月十七日

同ノ趣私生子ハ當然繼承權ヲ有スルモノニアラサルヲ以テ其父母嫡子女ヲ讓ケサル間ト雖モ他ヘ送籍スルヲ得ル儀ト心得可シ

○已決囚押送及費用ノ件(岐阜縣) 明治十九年十月五日

第一條 損害賠償私匿事件ニ付在監罪囚ニ對シ管轄警察署ヨリ押出狀送達アリ尚監獄ヘハ押送方照會アル場合ニ於テハ之レニ應シ被告人ヲ警察署ニ付シ監獄所在地ノ監獄ヘ押送シ同監獄ヨリ出廷セシムル儀ト心得可然哉

第二條 前條押送スヘキモノトセハ其押送費用ハ治道警察費支辨ニ屬スルモノニ候哉

第三條 監獄所在地ノ監獄ニ拘留中ノ衣食費ハ其監獄ニ於テ支辨スル儀乎又ハ發送地ノ監獄費ヲ以テ實費ヲ支辨スル乎或ハ在府縣獄囚徒費計算法ニ準シ一日金二十錢ノ制ヲ以テ支辨スル儀ニ候哉
(内務司法兩省)指令 明治十九年十二月二十日

第一條 同ノ通

第二條 其押出ヲ請求シタル者ノ支辨タルヘシ
但該送者旅費ハ本年内務省令第十一號ニ依リ囚徒ノ諸費用ハ實費ニ據リ裁判所請求スヘシ

○當籤又ハ浦期償還公債證書汚染毀損等ノ件(日本銀行) 明治十九年十二月十五日

諸公債證書水火災等ニテ其部分燒切レ又ハ消滅シテ通用シ難キ程ノモノハ新舊公債證書條例第十條中第四節及ヒ第五節ノ通可相心得ハ勿論ニ候得共爰ニ當籤又ハ元金償還ニ際シ元利賦金拂渡ニ際シ該證書及ヒ之ニ付著セル利賦札トモ毀損又ハ汚染等ノ分有之候トキハ其權要ノ文字ヲ毀損シ又ハ其文字中汚染等ニ係ルト雖モ其紙中ニ於テ之ガ正確ナルヲ鑑別シ得ヘキモノハ所有者ヨリ事由書ヲ徵求シ可拂渡候ヘ共其正否ヲ鑑別シ能ハサル程ノモノハ如何處分致シ可然哉

(大藏省)指令 明治十九年十二月二十二日

同ノ趣所轄廳ノ認明書ヲ持參スル者ニ限リ支拂方取計フヘキ儀ト心得ヘシ

○巡查看守給助金ノ件(船井縣) 明治十九年十二月八日

明治十五年第四十一號公達巡查看守給助例來ル二十年度ヨリ實施可致旨本年木甲第七號ヲ以テ御達相成候ニ付テハ給助金額別表ノ通相定メ施行致度候條御認可相成候(別表略ス)

一年金支給計算方ハ其年額ヲ月額ニシテ退職者死亡者ハ其翌日傷病者ハ傷等確定日ヲ以テ其月ヲ十五日前後ニ分テ全額又ハ半額ヲ支給ス其給與ヲ止ムル時モ亦同シ

明治十九年十二月 指令 内務 大藏省

4キ+α-26

明治十九年十二月 指令 内務省 司法省 大蔵省

八十

(内務省)指令 明治十九年十二月二十日

書面何ノ趣認可候事
但年金支給方ハ退職及死亡又ハ傷病等ノ翌月ヨリ支給スヘシト雖其給與ヲ止ムル場合ニ於テハ日割ヲ以テ計算スル儀ト心得ヘシ

○後見人権限等ノ件(富山縣) 明治十九年十二月七日

幼戸主ノ後見人ハ親族協體ノ上選任スヘキ處其親族ナキカ或ハ之アルモ未丁年者ナルトハ其町村戸長ヲシテ適宜後見人ヲ選定セシメ候テ可然哉果シテ然ラハ幼戸主所有ノ不動産賣買讓渡書質入等ノ場合モ後見人ノミ署名セシ證書ニ對シ戸長ニ於テ公證付與爲致可然乎

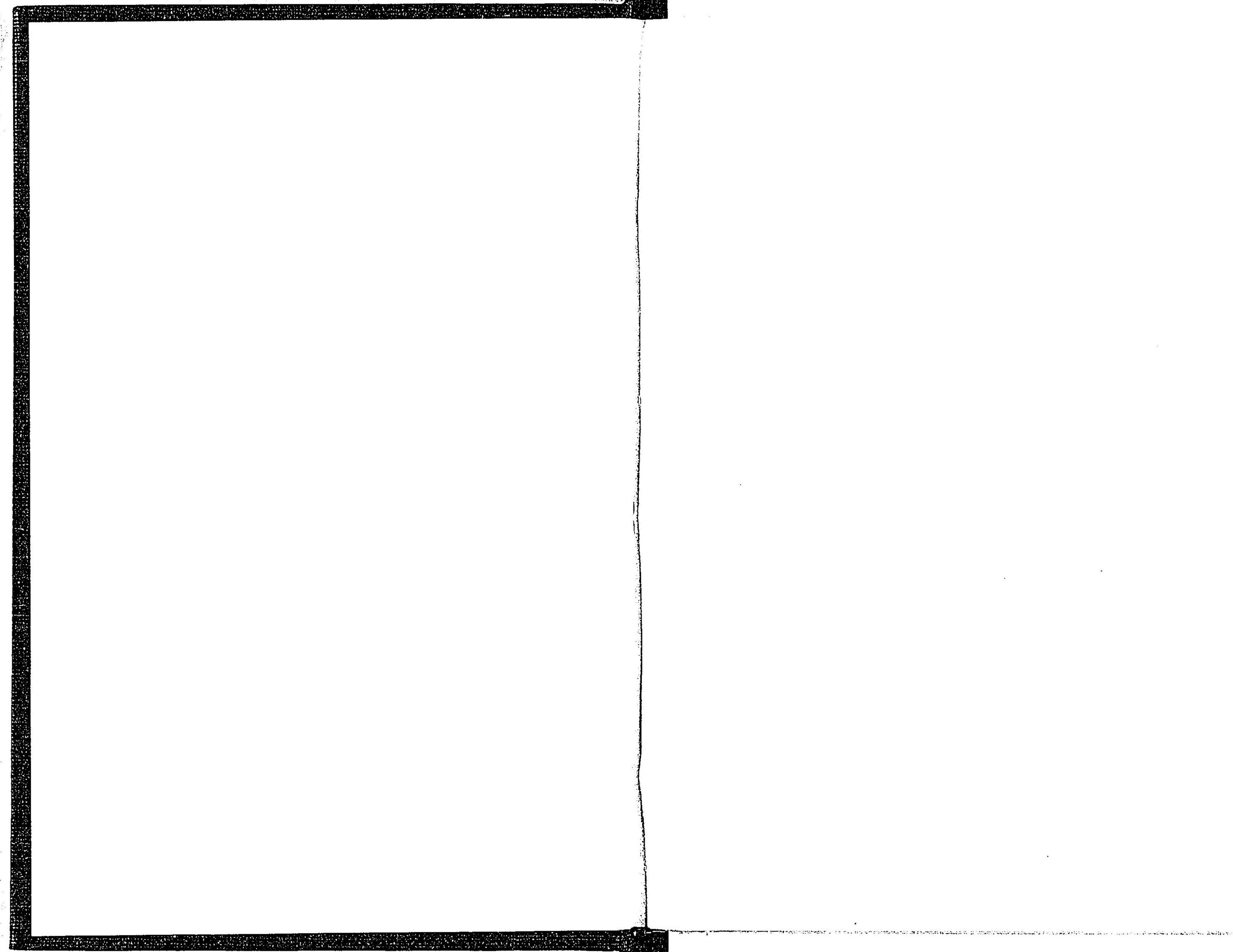
(司法省)指令 明治十九年十二月二十二日
伺ノ通

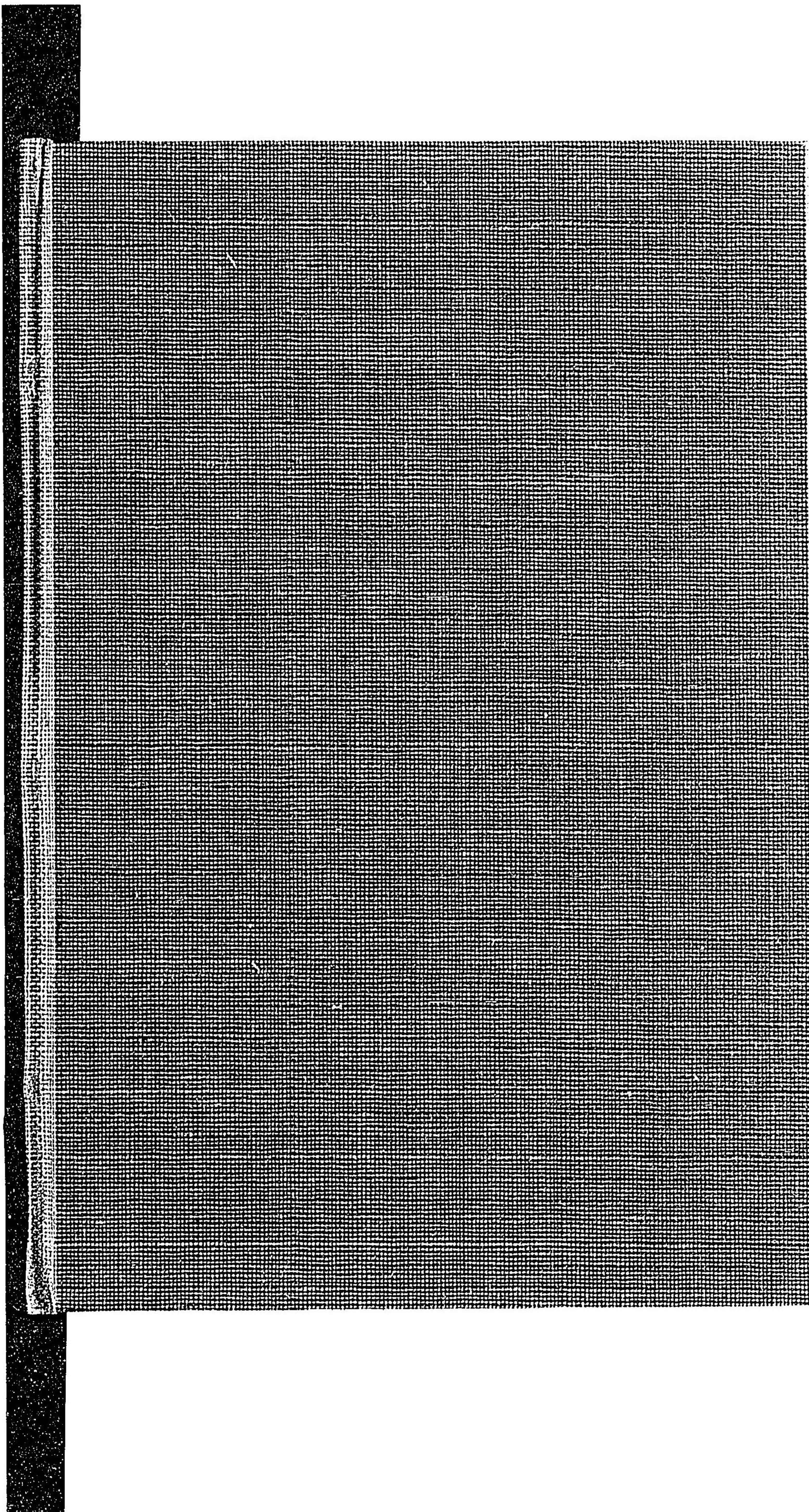
○賣藥稅徵收ノ件(福井縣) 明治十九年十二月十四日

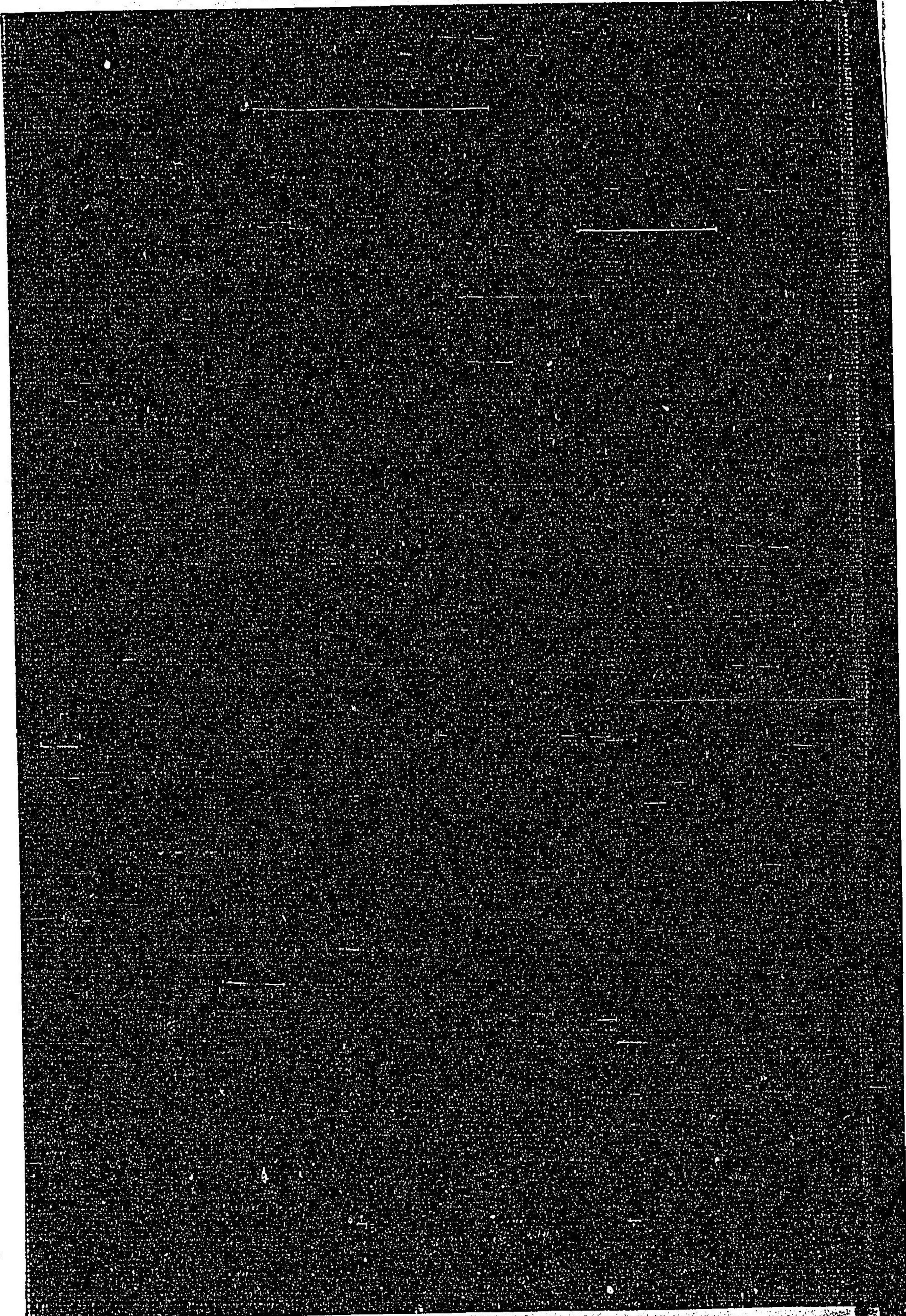
勅令第七十二號ヲ以テ賣藥規則中營業免許期限廢止相成候ニ付テハ該勅令ノ日付ヨリ到答期限及ヒ施行期限ヲ算スレハ本縣ノ該施行期日ハ本月十日ニ當レリ然ル處去ル十一月中ニテ營業免許満期ノモノ之レアリ右ハ勅令施行期日前既ニ満期ナルヲ以テ尙ホ免許ヲ得ント欲スルモノハ舊舊札ヲ返納致サセ更ニ新規營業ヲ出願セシメ營業稅及鑑札料トモ徵收致シ然ルヘキヤ

(大蔵省)指令 明治十九年十二月二十四日

伺ノ趣十一月満期ノ者ト雖未夕新舊札下付ノ手續ヲ了セサルモノハ此際更ニ下付ニ及ハス







031130-023-0

CZ-4-1

法令全書 慶応3年10月-明治45年7月

内閣官報局

M20-45

BBC-0982

